

NOTE BOOK

人類学 (6)

— 1962.9.27

O.N

GETUSEI

Kyoto University



INDEX

PAGE

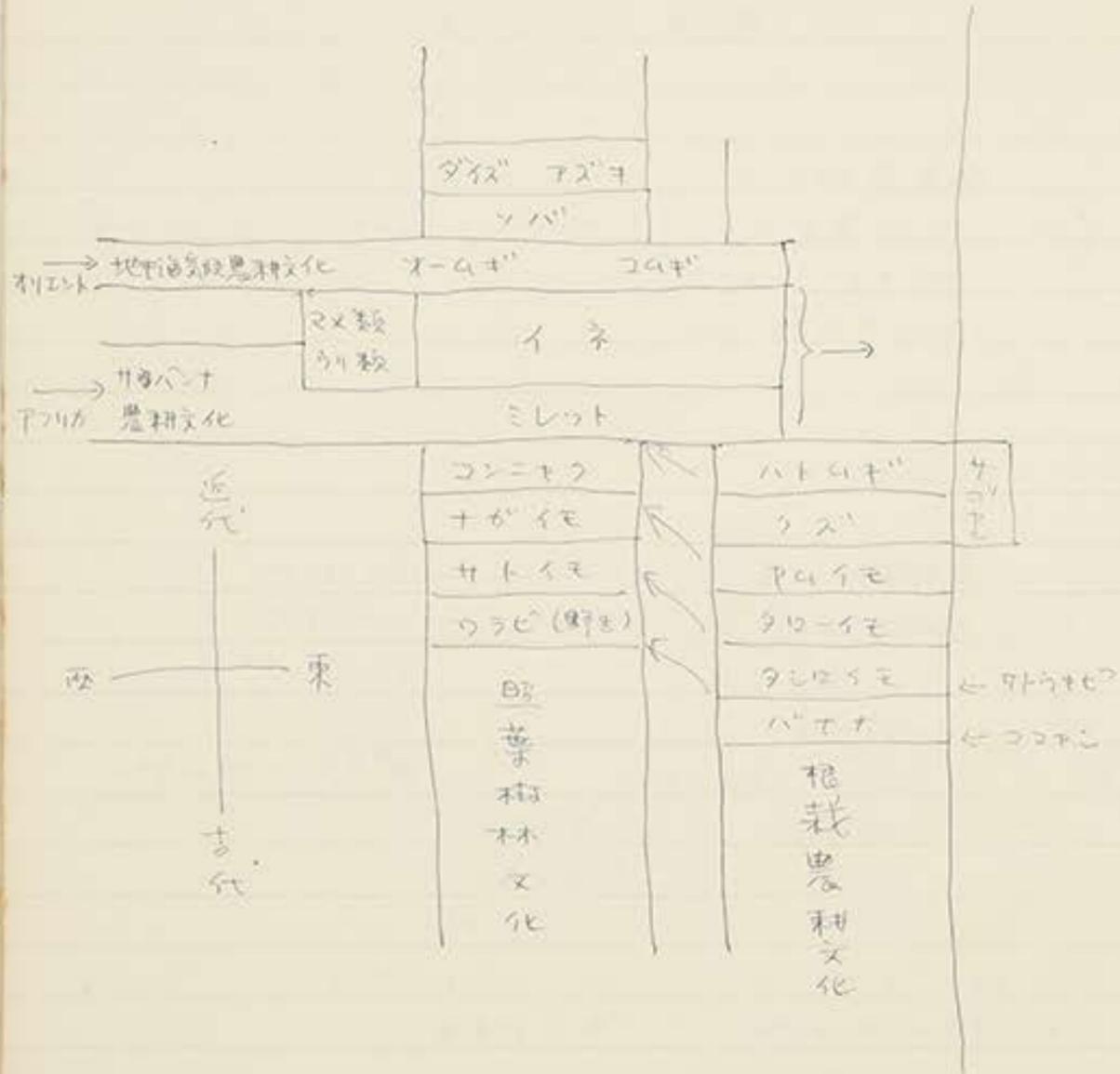
GETSUSEI NOTE

Kyoto University





果樹における農耕文化の発達とその系統図



除草  
干草  
修草

籾 籾 (コメ) 籾 (籾) 籾 (籾)  
西 籾 (コメ) 籾 (籾)  
東 籾 (コメ) 籾 (籾) 籾 (籾)

籾 籾 (コメ) 籾 (籾)  
籾 (籾) 籾 (籾) 籾 (籾)  
籾 (籾) 籾 (籾) 籾 (籾)

籾 籾 (コメ) 籾 (籾)  
籾 (籾) 籾 (籾) 籾 (籾)  
籾 (籾) 籾 (籾) 籾 (籾)

籾 籾 (コメ) 籾 (籾)  
籾 (籾) 籾 (籾) 籾 (籾)

籾 籾 (コメ) 籾 (籾)  
籾 (籾) 籾 (籾) 籾 (籾)  
籾 (籾) 籾 (籾) 籾 (籾)

籾 籾 (コメ) 籾 (籾)  
籾 (籾) 籾 (籾) 籾 (籾)



根 境は有るにせしむ  
 根 境は有るにせしむ



単層社会論

藤岡喜文

1962. 2. 4

アラスカ州のシベリヤ

100万年前

動物

狩猟

石器 (打製器)

狩猟

石器

一次採集者

オーストラリア (高次採集者)

Box culture

Point of view

文化

両方とも、アラスカ州のシベリヤ (100万年前)

文化の進歩は、文化の進歩を描き出す。

文化の進歩は、文化の進歩を描き出す。

又

Hunting Line

アラスカ州のシベリヤ

文化

BP. 170万年前

狩猟文化

狩猟文化の進歩は、文化の進歩を描き出す。—— 世界 (文化の進歩)

文化

文化の進歩

世界内・世界外の文化の進歩

アラスカ州のシベリヤ: 狩猟文化

Exogamy  
 endogamy

狩猟文化: 人類社会

文化の進歩

人類: 狩猟文化

—— 文化の進歩



親交以外のものとの関係

利権性 — 心算、代金...

親交の習性からして ) 本國への言法  
相対的 " " ) の是化等。

性類 — 男と 父 → 子  
父子性。

伊谷 伊谷三三三例。  
父交概念の提議。

異父交と 異母交の交世母

父世母の拡大 — 外婚。

親縁の世化 — 男 — patr:logical  
母縁の世化 — 女 — matr:local

Marx: Social Structure

技術 — 宗族性 — 半自治

23. 親交  
親交の世化

親交の世化は人倫内化の過程化

には工業革命の過程がある。

世帯、の世帯経済の内部化...

世帯 — パン — 代金 — 代金連合。

N.B. 伊谷三三三

トマソウ代金

20-半自治世帯

代金連合。

24. 伊谷三三三

地域内化の完全化の過程

高学 — 村の交 — Band 以下

親交の世帯化の過程...

満洲 (吉田 龍夫)

高学 — 村の交 — Band 以下

重層社会

重層の社会を組織化する

↓  
高学 (重層社会)

↓  
高学

重層社会

重層の社会を組織化する

高学

高学 2471

高学 2471

高学 2471

高学 2471

高学 2471

高学 2471

1. 人類の地位 — Hunting Line

2. 社会階級

3. 重層社会

4. 高学

水田耕作 (1)  
WISSMAN:

耕作 吉田

農耕のありか度層に在りてあり。

十が

十が、—— 陸奥州の林業に millet を用ひてあり。

アフリカの 単層農耕社会。

インダス 社会。口を閉ぢ

- × 1) 乱雑 —— 社会の 交易終了の family を用ひ
- 2) 共産 —— 其の 20% の 生産物

木十が ココヤシ —— 高層作物 (椰子)

椰子 —— 20% の 生産物 と 椰子の 20%

高山。 単層社会の 環境に在りて 耕作あり。

× 1 種 穀物の 耕作 あり

× 2 種 穀物の 耕作 あり

山地

交通の 便。

山頂

× 10人1人の surplus あり

× 一年12 surplus を 集めて 耕作

× 食物の 貯蔵あり。 —— 貯蔵物

社会

中層。

単層社会は		高層 (外産) 社会
division を 用ひ		
isolation を 用ひ		高層 (内産) 社会
Integration を 用ひ		

陸奥

魚の 養育。 —— 陸奥の 養育 (七ヶ岡)

山頂

上山

Climax

同義 高層社会

高層 (内産) 社会

—— 陸奥の 養育 ——

- × 陸奥の 養育 あり
- × 陸奥の 養育 あり (生産物あり)

谷 高層社会の 陸奥の 養育 —— 陸奥の 養育

× 高層社会が 陸奥の 養育 —— 陸奥

× 陸奥の 養育が 陸奥の 養育

× 陸奥の 養育が 陸奥の 養育 —— 陸奥、1-2-



同質 (未分化)

單位社會 — 單一生活型

Band

clan

tribe

異質 (分化)

單位社會 — 複數生活型

State

④ 單層

⑤ 多層

單層社會

1962. 2. 12

低土不  
詳也

3紀 —  
3紀期  
④ 3紀期

中尾

越前 打石岩 — 和琴文化

2-2-11

後期旧石岩

↓  
中石岩

→ 2-2-11

↓  
縄文前期

↓  
縄文後期

和琴) 生存力低し 重層化(12000)

和琴)

和琴 (混合在群)

→ 混合在群の母. 9700に集住.

中尾

北支. 99名群

2-2-11

近代以前は 2-2-11 E 区 の 2 群 の

支 隊 の 入 入 の 支 biological 石 地 の 支

和 琴 の 支 隊

2-2-11 支 隊 ④ 和 琴 支 隊

低土不

和 琴 支 隊 の 支 隊 支 隊 の 支

中尾

和 琴 支 隊 の 支

中世 混合文化の complex な  
 計は入ったが  
 乳を食った  
 complex は 混合  
 向より 混合文化の  
 入るに 思考 文化 等々 混合  
 と 文化 混合 文化

Normadism 混合文化の 混合文化

佐々木 混合文化 混合文化  
 混合文化 混合文化

中世 混合文化は 混合文化  
 混合文化 混合文化

混合文化は 混合文化  
 混合文化 混合文化

混合文化は 混合文化  
 (混合文化 混合文化 混合文化)

混合文化 混合文化

北東に 混合文化 混合文化  
 混合文化 混合文化

佐々木 混合文化 混合文化  
 混合文化 混合文化

藤岡 混合文化 混合文化  
 混合文化 混合文化

中世 混合文化 混合文化  
 混合文化 混合文化

佐々木 混合文化 混合文化  
 混合文化 混合文化

(混合文化は 混合文化  
 混合文化 混合文化)

混合文化 混合文化  
 混合文化 混合文化

混合文化 混合文化

混合文化 混合文化

混合文化 混合文化  
 混合文化 混合文化

混合文化 (混合文化) は  
 混合文化 混合文化  
 混合文化 混合文化

混合文化 混合文化

混合文化 混合文化

混合文化 (混合文化) は  
 混合文化 混合文化





中尾 動物の生活に Season のある、  
 何に response して Season が変わる  
 哺乳動物の繁殖行動は季節的、  
 Seasonality がある。  
 鳥類の生活には Seasonality がある。  
 Season によって生活の周期が変わる。  
 哺乳動物  
 鳥類  
 哺乳動物は季節性 (Seasonless)

節田 哺乳動物の生活に Season がある。  
 (哺乳動物)

中尾 哺乳動物は Seasonality がある。  
 哺乳動物は Seasonality

哺乳動物の生活には Seasonality がある。

定地繁殖 — 一定の場所を繁殖場所にする。  
 多角圏場 —  
 南極に定地繁殖の。

繁殖行動 — 繁殖の過程。  
 繁殖行動の過程は、母 — 子  
 生活の分岐点になる。  
 ① 母  
 ② 子  
 繁殖行動の過程は、母 — 子

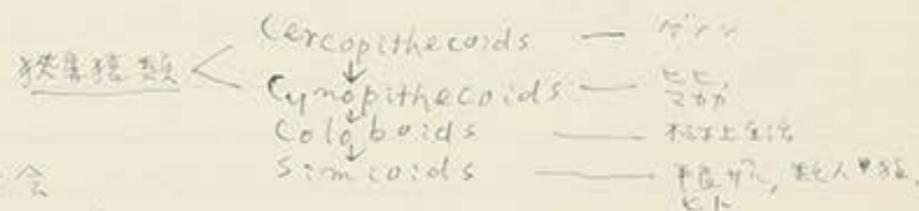
人間社会の成立

河合雅雄

1962. 2.

Oikin: Family と Oikin の一形態  
 不特定の個体の集団 — group  
 特定の個体の集団を単位とする — Oikin

比喩的: 哺乳動物類, 霊長類類



日本猿の社会

Solitary を重視する。

m♂ + m♀ — Troop

① Troop  
 母 — 子 only

1) A-Type

2) A-T Type

完全な母 — 子関係。



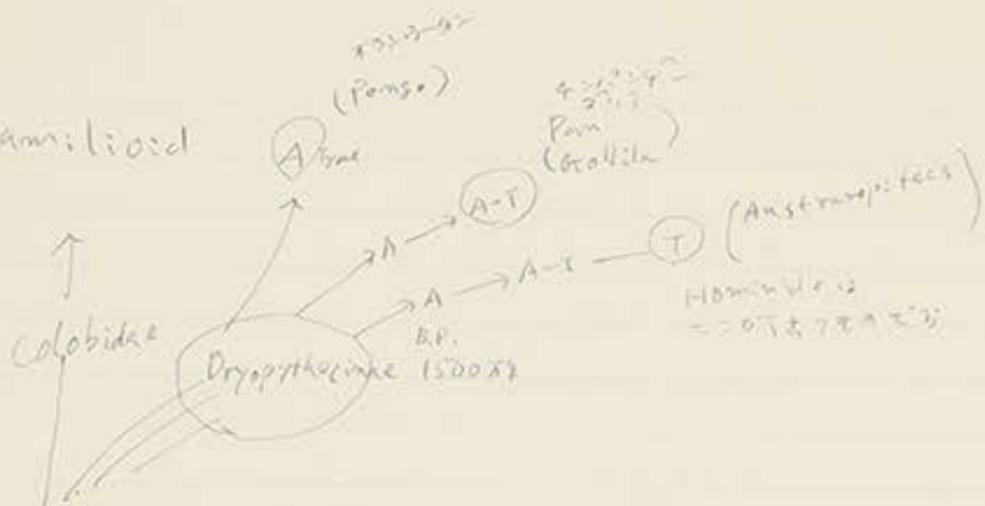
母 — 子関係  
 (完全な母 — 子関係)

完全 — 母 — 子。

完全な母 — 子関係  
 母 — 子関係  
 母 — 子関係



③ Familial

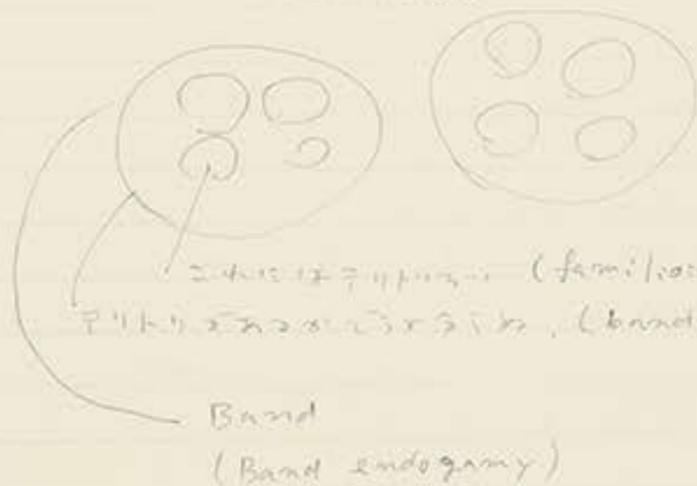
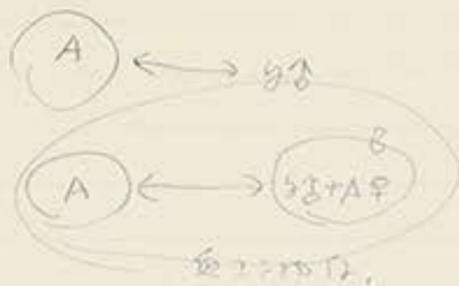
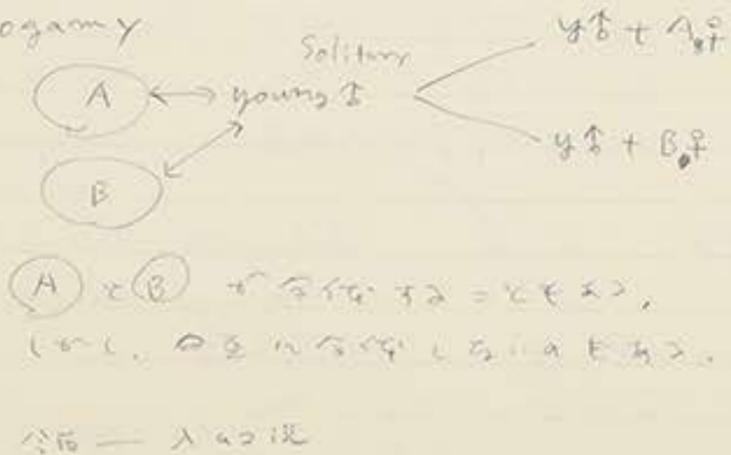


Gorilla  
1♂ + m ♀

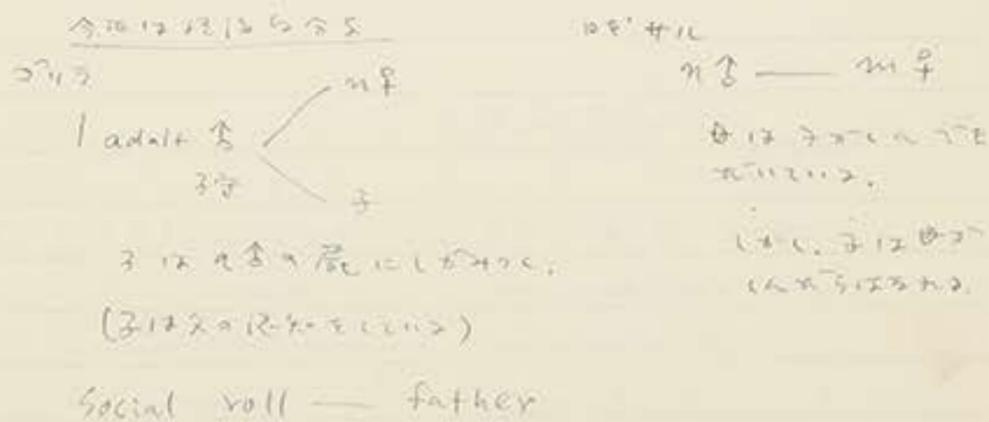
o Incest taboo



o Exogamy



o Division of Labor



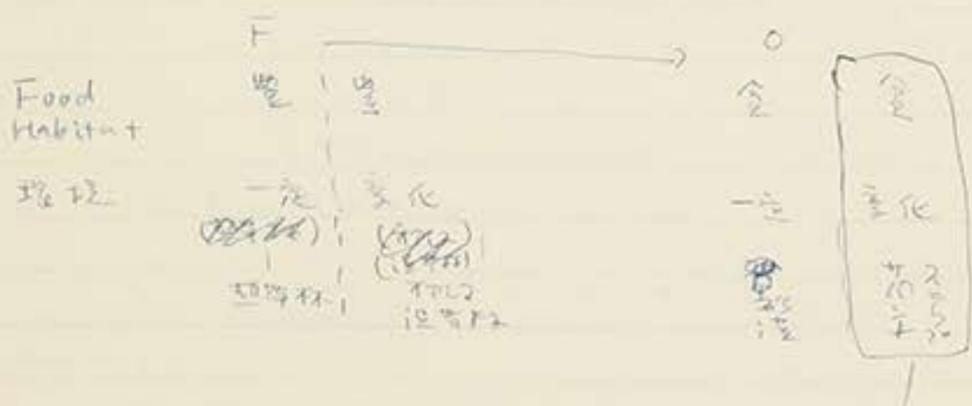


457-1

有跡地 → 457-1 研究全 → 457-1  
F (E) → 457-1 → 457-1

~~457-1~~

Primates → 457-1 → Hom. nide in 5. 2. 0



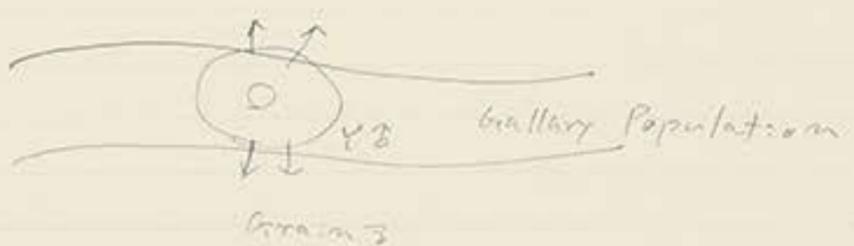
森林の環境は外にあり、  
その環境は → 進化

進化は、環境が変化すると、  
進化は、環境が変化すると、

進化は、環境が変化すると、  
進化は、環境が変化すると、

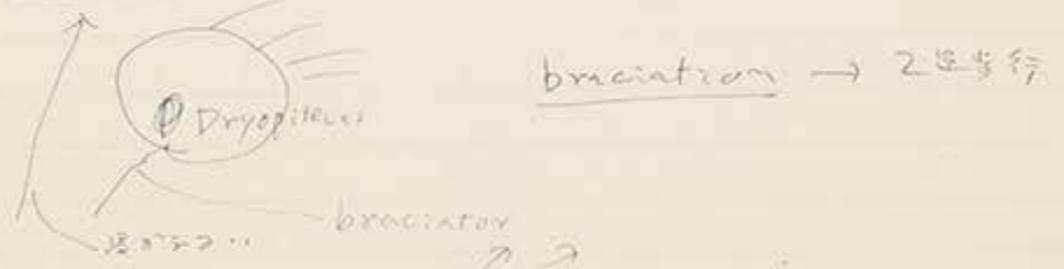
Tool-using → 進化は、環境が変化すると、  
進化は、環境が変化すると、

進化は、環境が変化すると、  
進化は、環境が変化すると、



A — A.T — T  
F — G.F, O.F — S

Gibbon (13-14 Omicrons, 進化は、環境が変化すると、)



Gallary Forest 1951 → 457-1

Kyoto University



ヒヒ 今更に 〇〇〇

ツチカ

チチのヒヒは ヒヒにヒヒ

チヒ — チヒの毛皮をヒヒにヒヒに  
人肉のヒヒにヒヒにヒヒにヒヒに

チヒ — チヒ

— ヒヒにヒヒにヒヒにヒヒに

→ bipedalism → hunting  
ヒヒに

チヒにヒヒの大ヒヒ

有ヒヒに

ヒヒ

チヒにヒヒ

ヒヒにヒヒ

ヒヒにヒヒ

ヒヒにヒヒ

ヒヒにヒヒ

Hunting — ヒヒにヒヒにヒヒにヒヒに

ヒヒにヒヒにヒヒにヒヒに

Washer — ヒヒにヒヒにヒヒにヒヒに

ヒヒ — ヒヒにヒヒにヒヒにヒヒに

ヒヒにヒヒにヒヒにヒヒに

Hunting time ヒヒにヒヒにヒヒにヒヒに

ヒヒにヒヒにヒヒにヒヒに

A

AT

↑

Gene

cy

Colob

An

ヒヒにヒヒにヒヒにヒヒに



谷表  
1962. 2. 24.

重層論

BC. 2000

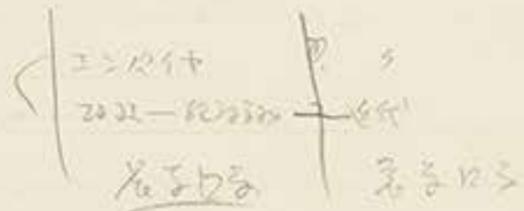
重層文化の合流

( B.C. 600  
A.D. 100  
A.D. 900 — F ) 分布

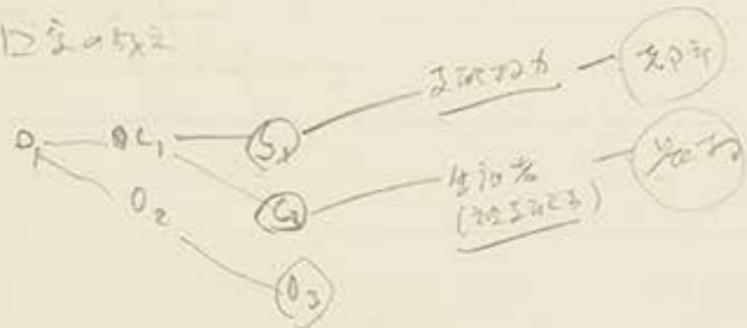
① ② ③ 可能  
ニシテ

定着

早期文化の  
伝播



△ ① ② ③ ④



△ 75% 的 生産 状況

大河 irrigation 地域  
灌漑 地域

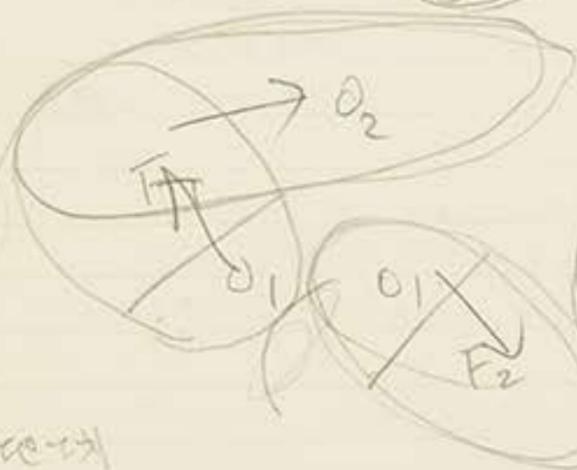
△ 大河 流域 の 環境 条件

○ 大河 流域 への 沖積 堆積

○ 大河 流域 への 堆積 物 堆積

○ Fossil 堆積物 堆積

1000-1500 1500-2000



○ 地域

＜ 中心  
円心

大河 流域



1. 大河 流域 への 沖積 堆積 物 堆積

大河 流域 への 沖積 堆積 物 堆積

○ 大河 流域 への 沖積 堆積 物 堆積

大河 流域 への 沖積 堆積 物 堆積

大河 流域 への 沖積 堆積 物 堆積

○ 大河 流域 への 沖積 堆積 物 堆積

大河 流域 への 沖積 堆積 物 堆積

Kyoto University

○ カンガイの25%は4%に2%の2%  
富の分配 (Surplus) ← 4% 土地生産の4% (可処分)  
2% 富の分配

★ One World 冬雨型

夏期カンパ

カンパ- 畑の全額,  
(食料, 学費の全額)

夏期カンパ

夏期カンパ 12月 12月

irrigation firm

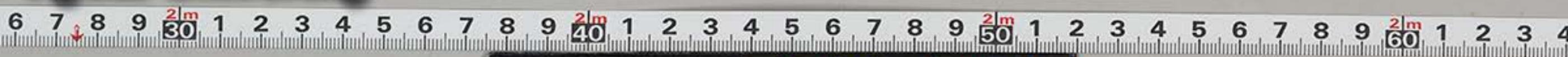
夏期カンパ 12月 12月

夏期カンパ 12月 12月  
Mesopotamia 夏期カンパ 12月 12月  
夏期カンパ 12月 12月

夏期カンパ 12月 12月  
夏期カンパ 12月 12月  
夏期カンパ 12月 12月

夏期カンパ 12月 12月  
夏期カンパ 12月 12月  
夏期カンパ 12月 12月

夏期カンパ 12月 12月  
夏期カンパ 12月 12月  
夏期カンパ 12月 12月



0 都市の発展

0

II

都市の発展 — 都市

広域子規の分布  
高低の不均衡性  
(両者の差化)  
治水 — 治水  
生活圏内 → 全路

① 全路内の分布



(都市 — 都市, 都市の分布) = 0  
注

都市の分布  
都市 — 都市



都市の分布



都市の分布



都市の分布 (都市の分布)  
都市の分布



都市の分布

都市の分布

Kyoto University



	内包	経路	迂回
	○	⊗ X	X
	○	⊗ X	<del>⊗</del> ⊗
	⊗	○	X

神

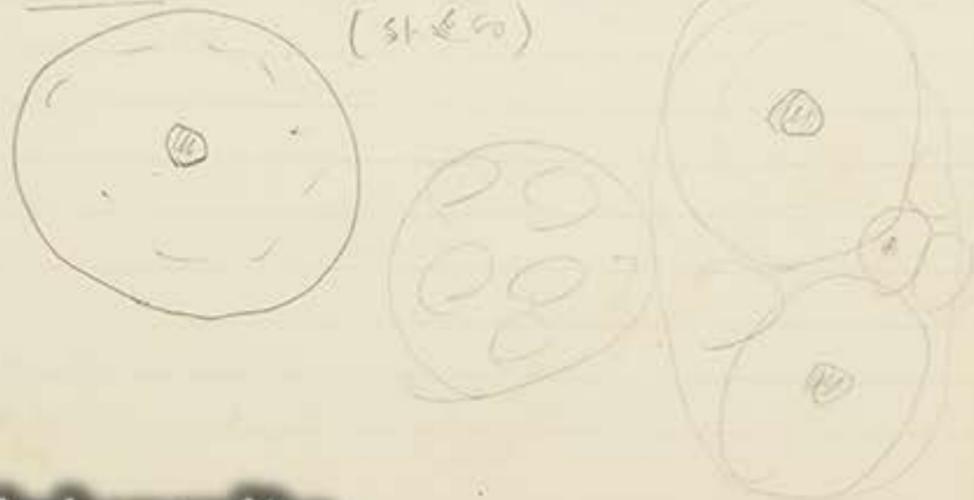
1) Surplusの存在  
 △ 全体的割合を測るためのもの

2) 1)の方向性を測るもの

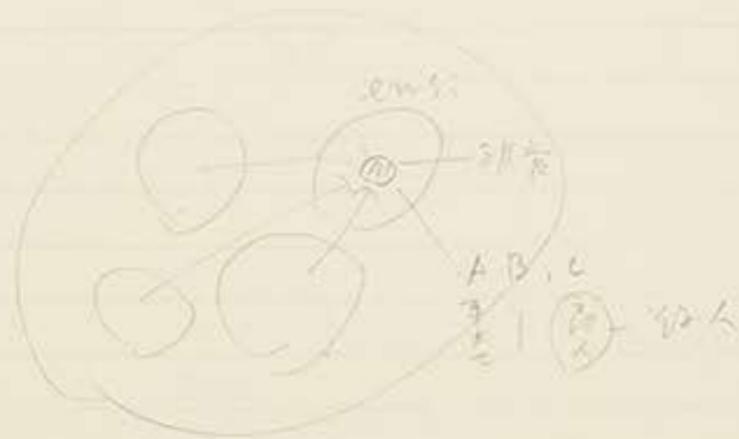
神々 (生体)  
 力 (生体)

Absolute Value

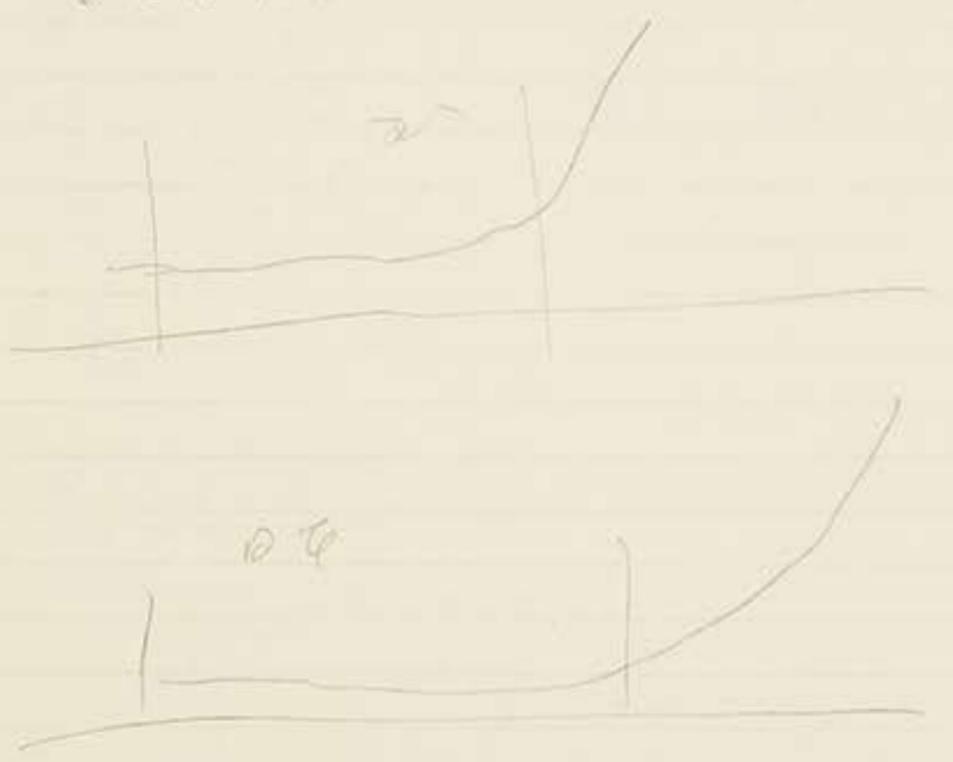
△ 割合化の方向  
 (外産)



経路内分室 — 中  
 経路内分室 — 散在 不十分 正しく他が  
 正確 = ?



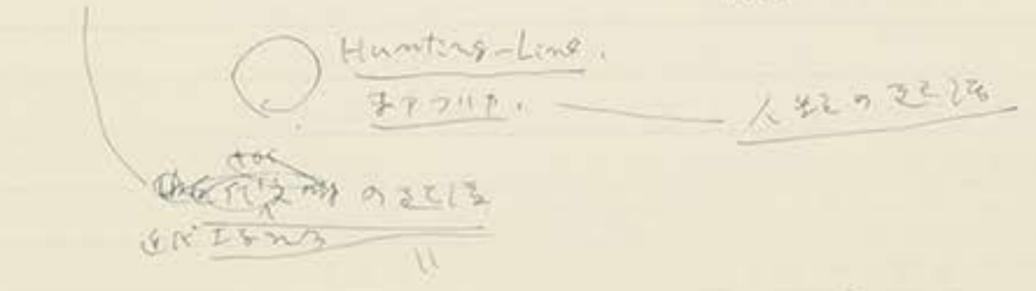
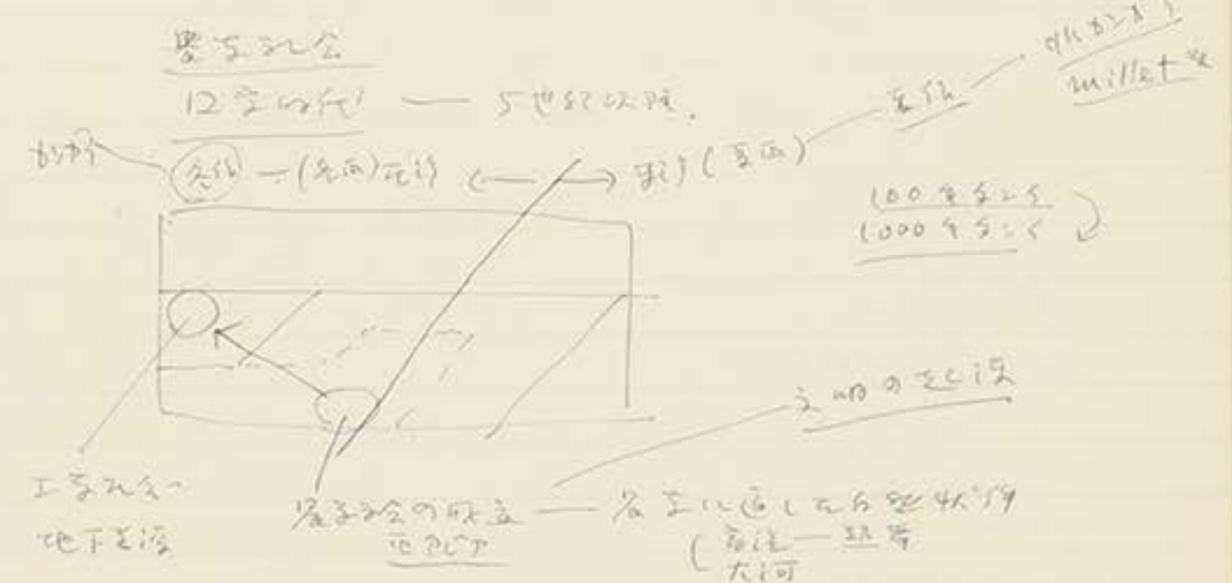
香子洞大々  
2-12-7/150 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



F地域唐層記念論

米山 俊臣  
1962. 2.

温带森林地域 < 西-10000  
東-10000



- 1) 右北 — 香 — 洞 — 大
  - 2) 中外 — 香 — 洞 — 大
  - 3) 東西 — 香 — 洞 — 大
- 香子洞大々の形成年  
5世紀後半

Kyoto University

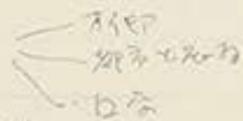




1. 地球の中心

2. 地球の中心  
3. 地球の中心  
4. 地球の中心

5. 地球の中心



6. why

F... ..  
= ...

(1) 地球の中心

(2) 地球の中心

① 地球の中心  
地球の中心

1. 地球の中心

地球の中心

地球の中心

2. 地球の中心

3. 地球の中心

進化

1. 進化

2. 進化

4. 地球の中心

地球の中心

5. 地球の中心

6. 地球の中心

7. 地球の中心

地球の中心

地球の中心

8. 地球の中心

9. 地球の中心

地球の中心

10. 地球の中心

地球の中心

1.

2. 地球の中心

3. 地球の中心

4. 地球の中心

5. 地球の中心

6. 地球の中心

地球の中心

地球の中心

(3) 高圧 (神子)

高度化の進み具合が...  
高度化の進み具合が...  
高度化の進み具合が...

○ 〇の進み 〇 F の進み 〇 〇の進み  
人口 + 〇

(4) 経済的

F の Climax

Climax



〇の進み 〇 F の進み 〇 〇の進み  
人口 + 〇

(5) F<sub>22</sub> の構造

合致 - 世界  
相対 - 〇〇 - Paralyzation  
12 〇 -

(6) Why 後から出てくる 〇の進み



〇の進み 〇 F の進み 〇 〇の進み  
人口 + 〇

〇の進み 〇 F の進み 〇 〇の進み  
人口 + 〇

〇の進み 〇 F の進み 〇 〇の進み  
人口 + 〇

1. F の進み 〇の進み  
2. F の進み 〇の進み

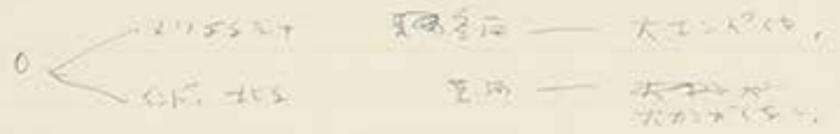
〇の進み 〇 F の進み 〇 〇の進み  
人口 + 〇

〇の進み 〇 F の進み 〇 〇の進み  
人口 + 〇

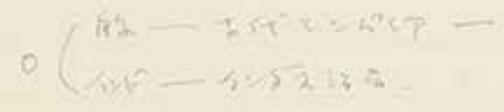
〇の進み 〇 F の進み 〇 〇の進み  
人口 + 〇

〇の進み 〇 F の進み 〇 〇の進み  
人口 + 〇





山岳部

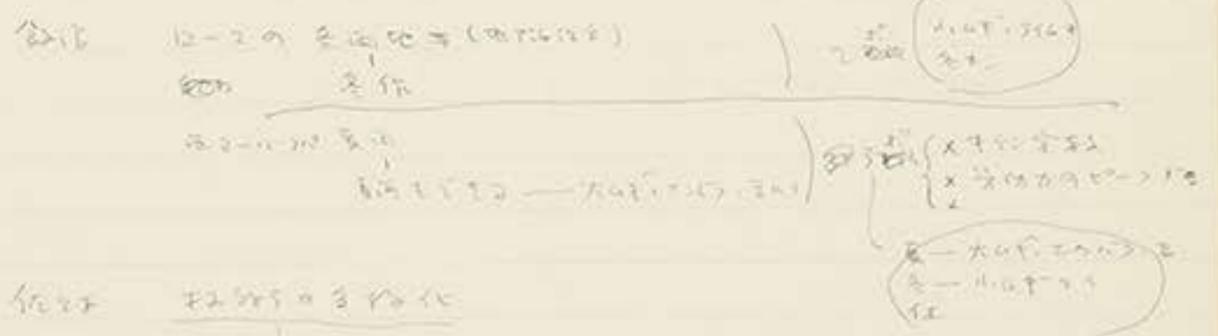
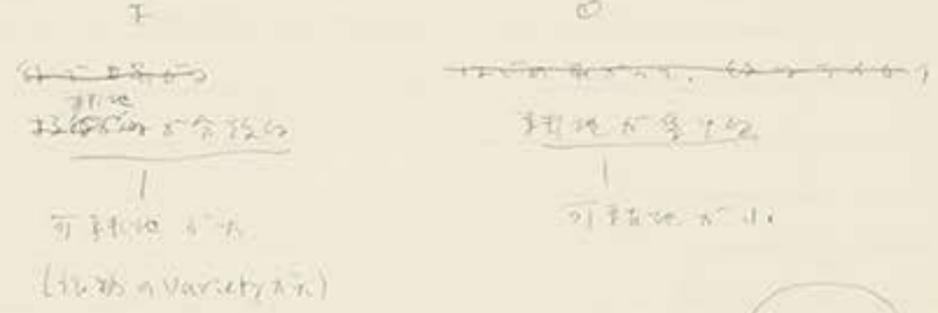


山岳部 (山岳部) — 注意, 500~600  
 谷部 (谷部) — 注意, 1000~1200

山岳部 谷部 — 山岳部 谷部 山岳部 谷部  
 山岳部 谷部 山岳部 谷部  
 (山岳部 谷部 山岳部 谷部)

山岳部: 山岳部 谷部 山岳部 谷部  
 山岳部 谷部 山岳部 谷部  
 山岳部 谷部 山岳部 谷部

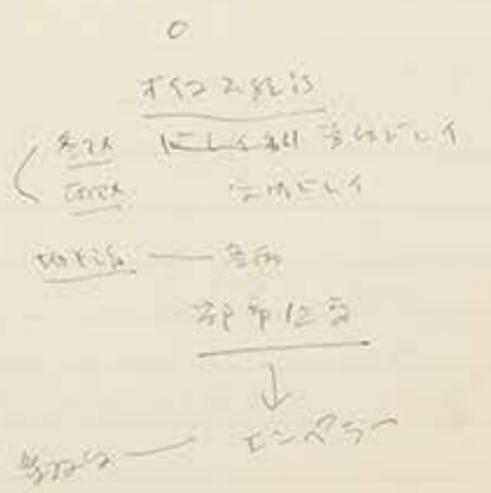
谷部



山岳部 谷部 — 山岳部 谷部  
 山岳部 谷部 山岳部 谷部

山岳部 谷部 — 山岳部 谷部  
 山岳部 谷部 山岳部 谷部

山岳部 谷部 — 山岳部 谷部  
 山岳部 谷部 山岳部 谷部



Kyoto University



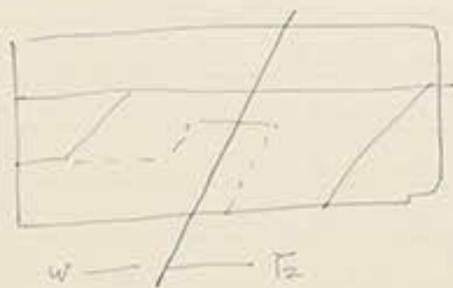


(7 = 7) 2x2

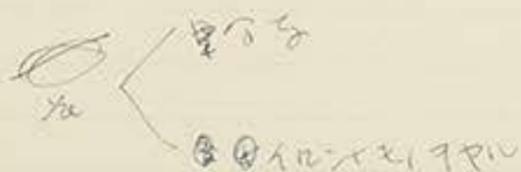
2x2 = 4

東西南北

I. F (東西南北) O (東西南北)



中節支 — 排水  
支節 — 大支節

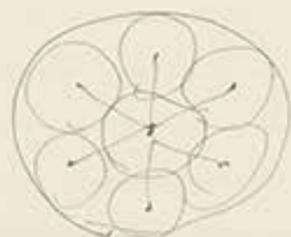


東西南北

1. 3-12-20 2. 2x2

東西南北

I. F (東西南北, 2x2) O (東西南北, 2x2)



東西南北



東西南北  
東西南北  
東西南北  
millet



東西南北

東西南北



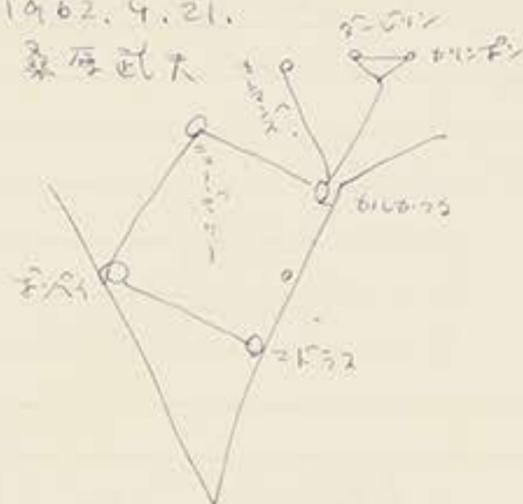
D — 237402777

F — 237402777

内田日正文化協会

1962. 4. 21.

桑原武夫



○戦後加わった下つた

(内田? 藤田?)

○礼一、バスターの発音力

○英和辞書を代表して

...

○経済体系は独立後から始まる。

内田と内田 →

○経済 2倍。

○土地改革は法と...

○度氏 0.8の1/2

○仁人 4倍の2倍。

有司手帳。

○国際郵便のつとめとつたつた。

○礼一) 全記二つ(2倍の2倍)。

上法	内田
下法	藤田

2-103 度氏

高物

○礼一の内田の整理。

かきと内田の整理。

3420

12-4.21

Tibor Mende:

L'Inde devant l'orange,

○武田清子 1950, Paris

内田の整理と内田の整理。

内田の整理と内田の整理。

○礼一内田

3-1-103の整理とつたつた。

○内田の整理とつた

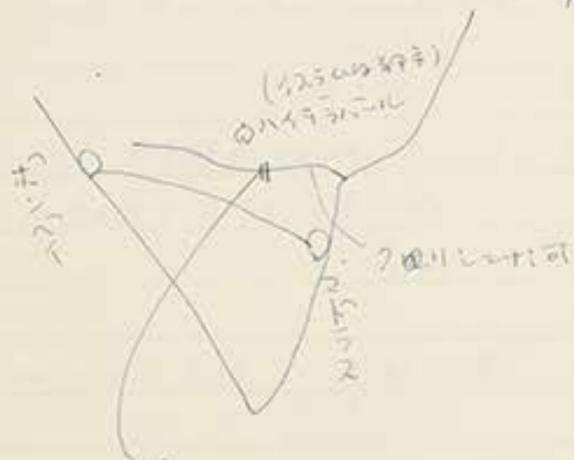
手帳の30%

バスター — 60%



桓仁康隆

ナガルジュナコムダ  
Nagarjuna Konda



石の文化  
は石の文化の遺跡  
の文化の遺跡の  
所はここである。

Nagarjunasagar  
Nagarjunasagar (500m) 石の文化

○ A.D. 2, 3 C. のもの  
石の文化の遺跡  
の文化の遺跡  
Chopper Culture  
の文化の遺跡  
の文化の遺跡の  
所はここである。



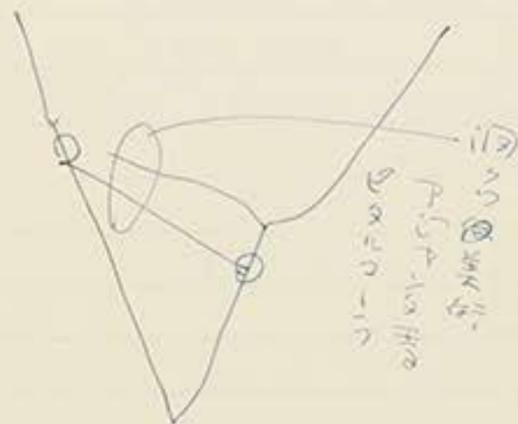
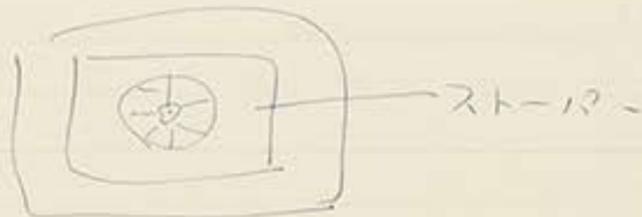
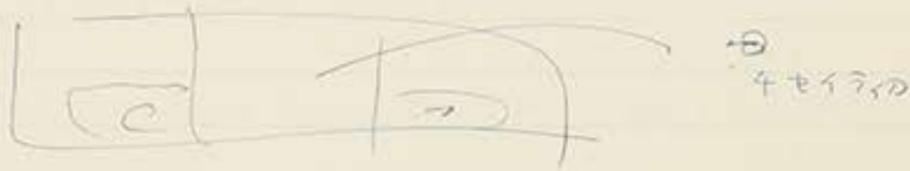
石の文化の遺跡  
の文化の遺跡

○ A.D. 2~3 C. のもの  
石の文化の遺跡  
の文化の遺跡  
の文化の遺跡

石の文化の遺跡  
の文化の遺跡  
の文化の遺跡

Megalithic

B.C. 2~300  
石の文化



石の文化  
の文化の遺跡  
の文化の遺跡  
B.C. 1~200  
の文化の遺跡  
の文化の遺跡

イシノト世

同級生時代

Ghaznavids (962) 962

Ghur V (1186-1206) Saggal (1414-1445)

Slave (1206-1226) Lodi (1451-1526)

Khelji (1200-1320) Mughal (1500-)

Tughluq (1320-1413)

同級	合
キリスト教	同
ユダヤ教	±

?

1262.4. 藤岡

1262.4.

Reality orientation

Reality test

Personality

- 感情的側面
- 知的側面

1936年

社会的環境。 — 感情

感情の導入の過程 report

場 : 同級生。 — ヲウ

場 : — 合

Q. 意味。

感情。 — 社会 — 工業の世

右の感情

努力の感情	感情の感情
感情	感情の感情
感情	感情の感情
感情	感情の感情

anticipation of 感情。

x 感情の感情 tension of 感情

感情の感情 tension of 感情

Kyoto University



- \* 身が受けるものを表すための二つの次元
- \* 抑圧された人々の存在を記述するもの
- 道徳的・法的な次元のものを記述する
- 社会的・政治的な次元のものを記述する

\* 社会主義的立場から人々の方向づけ

日本国史。 戦前戦時体制

地

社会主義 → 4. 5 → 人内

\* 社会主義 → 社会主義

思想介入の仕方の発展

Gestalt 理論の発展

個々の精神生活の発展

universe of thought の発展  
(frame of reference)

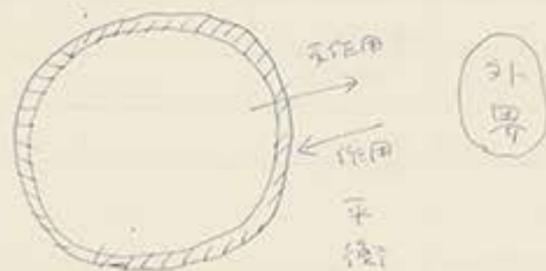
社会主義の発展 → 社会主義の発展 → 社会主義の発展  
社会主義の発展 → 社会主義の発展 → 社会主義の発展  
社会主義の発展 → 社会主義の発展 → 社会主義の発展

社会主義の発展 → 社会主義の発展 → 社会主義の発展  
社会主義の発展 → 社会主義の発展 → 社会主義の発展

\* 社会主義の発展 → 社会主義の発展

社会主義の発展 → 社会主義の発展 → 社会主義の発展

社会主義



社会主義  
社会主義

社会主義  
社会主義

社会主義 — reality orientation — 社会主義  
社会主義 — reality testing (specification) — 社会主義

	社会主義	社会主義
社会主義	社会主義	社会主義
社会主義	社会主義	社会主義

社会主義 社会主義の発展 → 社会主義の発展

basic anxiety — 社会主義の発展

社会主義	社会主義の発展	社会主義
社会主義	社会主義の発展	社会主義

Kyoto University



	Society	Basic Anxiety	
I. 物种	tribe (原始社会)	自然恐惧	
II. 集团	super-tribe (酋长社会)	集团恐惧 国家	文字
III. 人种	State	国家恐惧 他人	
IV. 理论	Cosmopolitan		

努力の限界  
 限界  
 安心  
 安心

社会学的意味

Realization  
 Reality Orientation の場  
 拡大

他性 (個性 × 社会性)

何に依りて努力 (不安)

他性 { 1. 個人的 (好悪)  
 2. 集团的 (正・邪)  
 3. 宇宙的 (坚信)

1962. 4. 30

私山住也

下川幸次の学問論

Levy

Marton

Parsons

Durkheim

Marx

Weber

Durkheim — Lodovico-brown

文化人類学

1. Ethnography — 社会学史的
2. Ethnology — Ethnography の歴史
3. Social Anthropology — 社会学史的

Durkheim 主義の歴史

「社会学の方法」 (1895)

「社会学原理」 機能 → 社会学史の序論 (1912)

「社会学原理」 構造 → 社会学史論 (1955)

「社会学史」 (1952)

Segmentary → organic  
 人の社会の発展

社会 — 社会学史 (個人)

社会学 — 社会学史 (社会)

構造的, 社会的

社会的存在 — 集团表象 representation collective

(個人と集団の外に存在)

個人と集団の構造的関係

社会学史

社会学史, 社会学史, 社会学史

社会学史

Substratum

人口分布, 文化の  
 地理的分布  
 社会学史

社会形态学 社会の発展の歴史

1. Société polysegmentaires simple  
単純多段階級社会 単純社会
2. " " simplement composés  
単純合成多段階級社会 単純合成社会
3. " " doublement composés  
二重合成多段階級社会 二重合成社会

Durkheim: 社会と社会は二重二重  
社会と社会は二重

社会: 社会と社会は二重二重

社会と社会は二重

社会と社会は二重二重二重二重二重二重

社会と社会は二重二重二重二重二重二重

社会と社会は二重二重二重二重二重二重

社会と社会は二重二重二重二重二重二重

Durkheim の社会論の中心

社会と社会は二重二重二重二重二重二重

Durkheim の社会論の中心

社会の発展の歴史

社会の発展

社会の発展の歴史

社会の発展の歴史

社会

社会

社会

社会

社会

社会

社会と社会は二重二重二重二重二重二重

Durkheim → Radcliffe-brown

社会人類学 a Line

Social Anthropology a step to the History of Ethnology

1. 社会と社会は二重二重二重二重二重二重  
Diffusionism (社会の発展の歴史は二重二重二重二重二重二重)

2. 社会と社会は二重二重二重二重二重二重

3. 社会と社会は二重二重二重二重二重二重

4. Volkskunde is a step to the History of Ethnology

社会と社会は二重二重二重二重二重二重

5. 社会と社会は二重二重二重二重二重二重

社会と社会は二重二重二重二重二重二重

社会と社会は二重二重二重二重二重二重

b. 宗教的 方面...  
 宗教的 方面... 宗教的 方面...

(171)

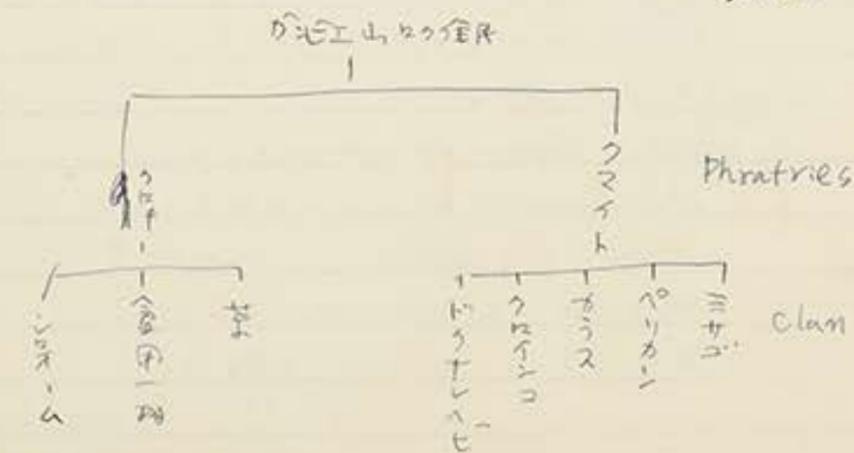
今語. 宗教の 起源...  
 宗教の 起源... 宗教の 起源...

和山. 宗教の 起源...  
 宗教の 起源... 宗教の 起源...

今語. 宗教の 起源...  
 宗教の 起源... 宗教の 起源...

和山. 宗教の 起源...  
 Frather; Totemism Exogamy and Totemism.

和山. 宗教の 起源...  
 Animism (spirit) 民族  
 Naturism 宗教的



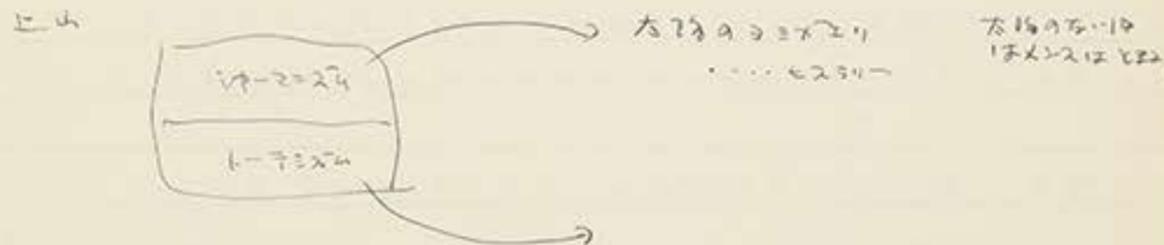
和山. 宗教の 起源...  
 Loi de participation

今語. 宗教の 起源...  
 宗教の 起源... 宗教の 起源...

和山. 宗教の 起源...  
 宗教の 起源... 宗教の 起源...

宗教の 起源...  
 宗教の 起源... 宗教の 起源...

宗教の 起源...  
 宗教の 起源... 宗教の 起源...



和山. 宗教の 起源...  
 宗教の 起源... 宗教の 起源...





1.  $\alpha L$   $\alpha T \times$   
 非0等位  $\alpha T \times$   
 0等位  $\alpha T$

\* 完全不全の訂次

7. 2. 7, 2. 12. 20

2.  $\alpha - \gamma = \alpha \gamma$  (17) 3. 12. 2. 11  
 $\alpha - \gamma = \alpha \gamma$  (18) 3. 12. 2. 11

3.  $\gamma = \alpha \gamma$ ,  $\alpha \gamma = \alpha \gamma$

4.  $\alpha \gamma = \alpha \gamma$

5.  $\alpha \gamma = \alpha \gamma$

6.  $\alpha \gamma = \alpha \gamma$

7.  $\alpha - \gamma = \alpha \gamma$

2. 12. 2. 11

3. 12. 2. 11

4. 12. 2. 11

5. 12. 2. 11

足正環行論.

金部

1962. 5. 7.

中尾 — ( 泰, 地球, 種々の位階化,  
 3. 12. 2. 11 位階, 種々の位階化は外に出ぬ.)

泰 — 水塔 全層水層 500m 以下 — 250m  $\frac{2000^{\circ}C}{\text{長0.1cm}}$   
 3. 12. 2. 11 — 全層水層 500m 以上 —  $\frac{4000^{\circ}C}{\text{長0.1cm}}$

この位階化の

0. 4. 12. 2. 11 種子, 2. 右の位階 (泰位)  
 位 — 高層水層, 右の 2. 右の位階 (泰位)

中尾  $\alpha$  位階化の — 2. 12. 2. 11 — 種子の位階: 種々の位階化  
 3. 12. 2. 11 位階 — 位階 — 種々の位階:

金部

~~3. 12. 2. 11~~ 種々の位階

$\alpha$  位階 — 種々の位階

3. 12. 2. 11 — 種々の位階

上地の位階 Soil-malting  
 土の位階  
 種々の位階 ← 種々の位階

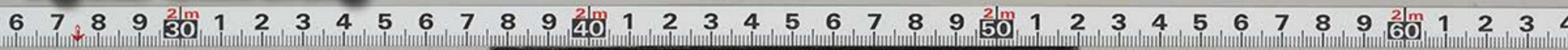
種々の位階 — 位階化の  
 位階化の

位階化の — 位階化の  
 位階化の — 位階化の

非種々の位階 — 位階化の  
 位階化の — 位階化の

位階化の — 位階化の  
 位階化の — 位階化の

Kyoto University



肥料 — 主要の肥料。  
 肥料 — 主要の肥料。  
 水田 — 連作の田。  
 休田 — 休田の田。

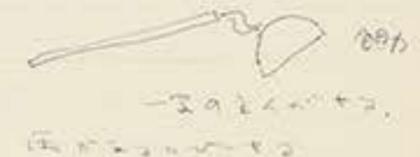
水田 — 休田の田。

Dry farming  
 休田 — 休田の田。

Widjoe: Dry Farming, 1926  
 (224人)  
 500m - 950m  
 休田 — 休田の田  
 休田 — 休田の田  
 休田 — 休田の田

耨耨 (Hack bau)

Dry Farming  
 Soil-mulching + 耨耨  
 Soil-mulching + 耨耨



耨耨  
 耨耨  
 耨耨

耨耨  
 耨耨

Dry Farming

D.F. Soil-mulching  
 耨耨



0地中16

Dry farming 冬小麦

10月17日

2年内9天以上、冬小麦を1-2回刈る。

休耕地。

2式 畝長 700mm  
1-2 畝幅 150mm

2式 無輪式  
1-2 畝幅 150mm  
10-2 原状の地を2式。

地中16	活田
冬小麦	夏作
休耕地	夏作
	夏作 可能
	小麦、4月-8月
	大豆、
	豆類、
	9C. 10-11月、3回刈る
	夏作

2式 耕地の1/2倍行

3式 耕地の2/3倍行

4式 耕地の1/2倍行

10-2の範囲で2式を2式下

11-13C

11-13C. 12月30日 2式を3式に切りかえる。

地中16地中。2式を9月1

3式  
有輪式

車

挽土板

12月1日河上流に2式を3式に切りかえる。

3式を1-2式に切りかえる。

10-2 冬小麦  
2式 休耕地 — 水分在土中の多量 — 12月  
3式 休耕地 — 降雪 — 12月

冬小麦

1523

1570

引用文句は 10-2 の冬小麦

1570

1570

2式

冬小麦

1570 1570 1570 1570

1570

1570

1570

1570

1570

1570

1570

1570

10-2の冬小麦の管理方法を12月1日 10-2式に

10-2式を3式に切りかえる。

10-2式を3式に切りかえる。

今日: 新米田の収穫作業を終了。

明日: 2-10の人の名を覚える。

田舎. Gardening.

休みの日は4-5回 Soil-matting etc.

非耕種

耕種



今日: 北半島の各地の

北半. Dry farmingの要領は、冬に中耕をやる。

明日: 北半. 夏に(15日、7月...)に  
草刈りは必ずやる必要がある。

北半の秋は稲作に専念する。

稲作は10月まで、11月には出づる。

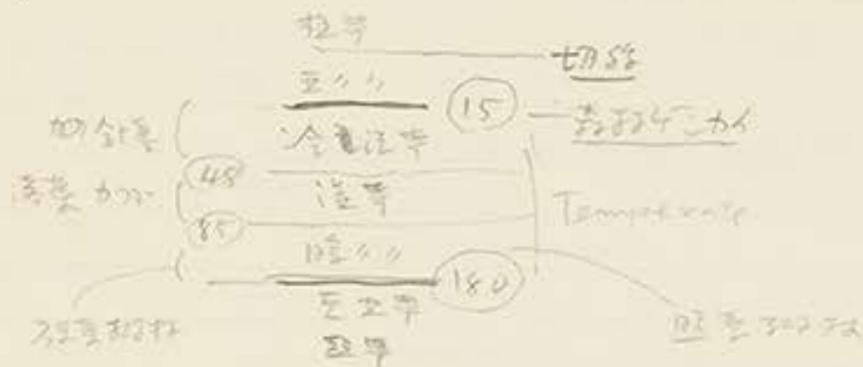
非耕種 — 冬に草刈りをする。

耕種 — 冬に草刈りをする。

北半 稲作は Culture する。

今日: 北半 稲作は Culture する。粟 (millet)

明日: 北半 稲作は Culture する。粟 (millet)



稲作

草刈り

草刈り  
Chaparral  
Chaparral (木刈り)

草刈り

草刈り

1962.5.21

飯沼三郎

言語  
言語

佐々木 語族の分布と環境の関係

オーストラリア

パタゴニア

今日

オーストラリアの分布

言語 ———— 23000 北部 ———— 地帯 ———— 言語

- \* 日英辞書に載る (英語に由来する)
- \* 英語に由来する (英語に由来する)

南と北

Hunting ———— 10950 大狩猟の経緯の面を子。

飯沼報告

訂正  
I.

乾燥地帯 → 中耕地帯

非 " " → 非 " "

中耕 (草の中に除草 木上へ 耕種する) = 〇

cultivation  
soil-mulching  
4000

中耕

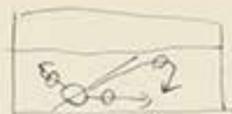
dry farming

年降雨量 500 mm 以下 2000 年 10 月 1 日 以降 有効な有用地の割合が 50% 以下。

重要は 500 mm ~ 750 mm の間は d.f. の 20% 以下 土壌の水分が 40% 以下 50% 以下。

humid farming

除草に重要が不明。



北  
中耕地帯

中  
耕  
地  
帯  
(Landscape)

① 旧大陸の産子。—— 3000 年 伝播系統

① 〇—〇—〇—〇—〇 (西アジア—3000)

〇—〇—〇—〇—〇 (西アジア—3000)

② 〇—〇—〇—〇—〇 (東アジア—3000)

〇—〇—〇—〇—〇 (東アジア—3000)

③ インド、東南アジアの産子 (南アジア—3000)

〇—〇—〇—〇—〇 (南アジア—3000)

〇—〇—〇—〇—〇 (南アジア—3000)

〇—〇—〇—〇—〇 (南アジア—3000)

〇—〇—〇—〇—〇 (南アジア—3000)

dry farming

地中海地方

2年1作

年4月 5月 Soil mulching

休作

冬小麦 → 冬作

2畝式

休作

洗耕 (換土板) 鋤作

3年1作

3畝式

夏作

休作

冬作

休作

休作

3年1作 休作

5月 6月 10月 11月 12月

深まき

华北

〇—〇—〇—〇—〇 (华北—3000)

金鋤 (hoe 1000)

前漢 — 長柄鋤 (洗耕)

破土能力が弱い soil-mulching 用

中耕具 (冬は使われない)

小麦をこり上げたり 草を中耕

Kyoto University







1962. 6. 18.

411

Dryopithecus  
B. 25005

Zinjanthropus  
(B. 170708)

○ 411 号の 1 号の 骨

○

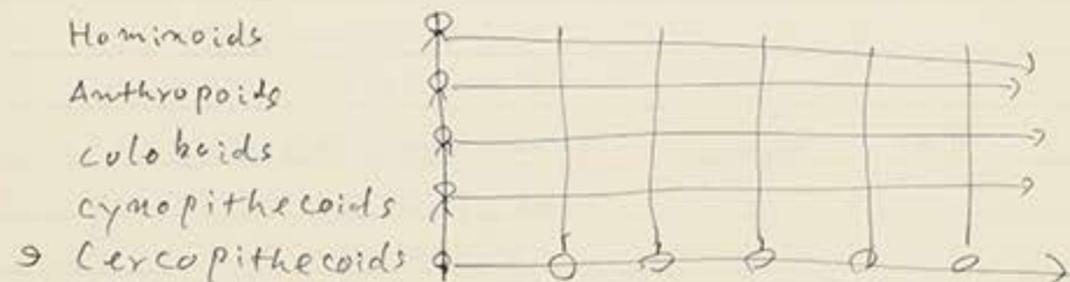
○ Dikika 骨

○ 従来. 系統論に於ける 10 個の 骨.

○ 10 個の 骨

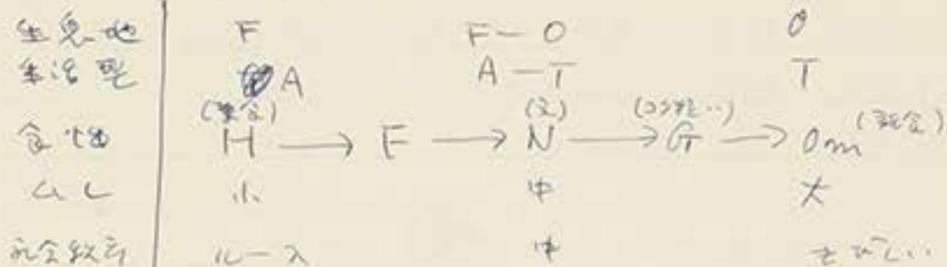
○ 10 個の 骨

○ 10 個の 骨	○ 10 個の 骨	○ 10 個の 骨
○ 10 個の 骨	○ 10 個の 骨	○ 10 個の 骨



○ 10 個の 骨

Cercopithecoide



Cynopithecoids 2 個の 骨

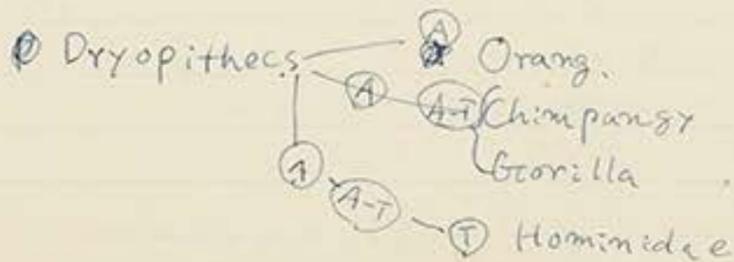
Anthropoids 10 個の 骨

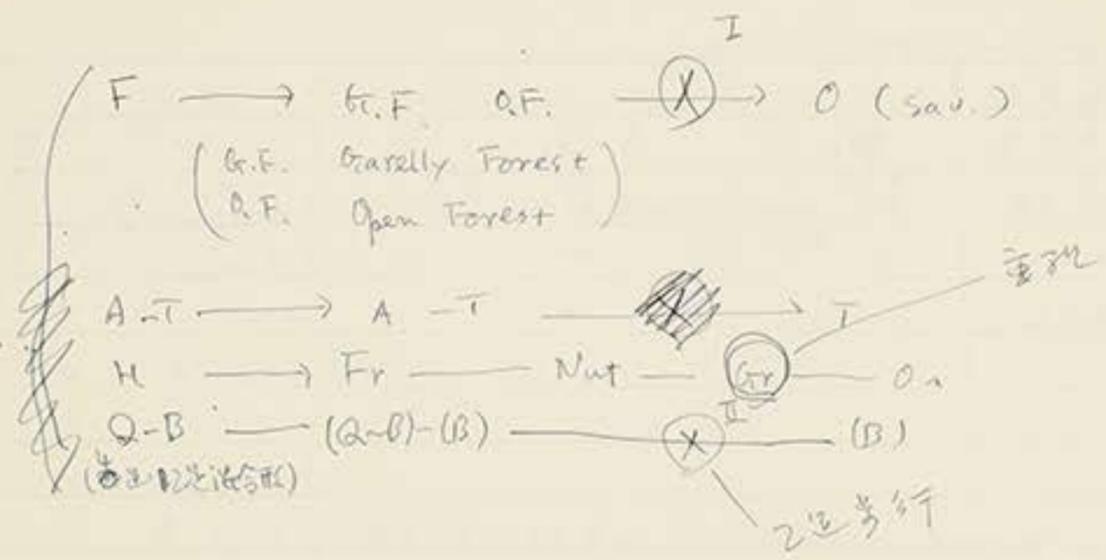
○ Troop

Coloboids Familyoid — 1♂ + m♀

Anthropoids Proto-family — 1♂ + m♀

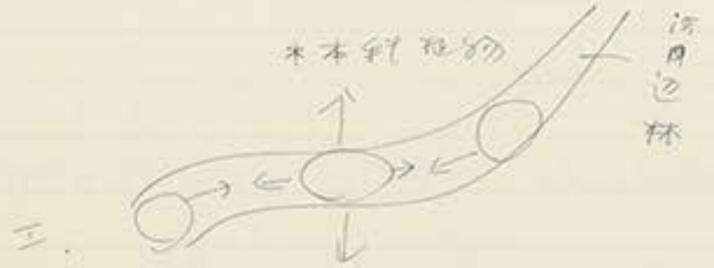
Hominoids Family — 1♂ + m♀ + 1♀



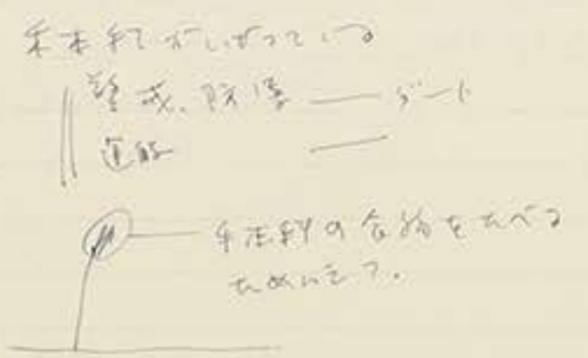


Anthropoid の生活環境

Vegetation  
Nomad  
Nesting



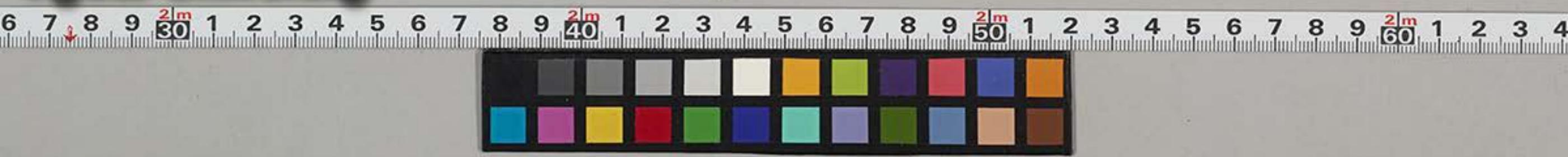
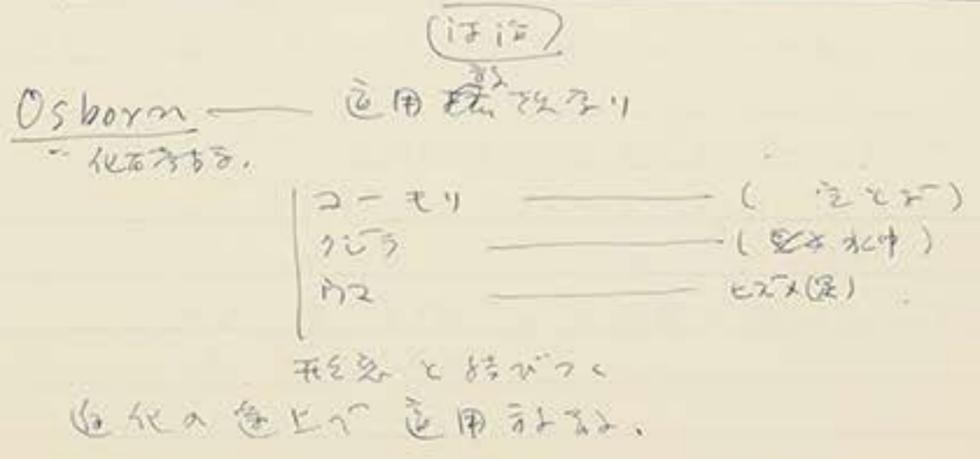
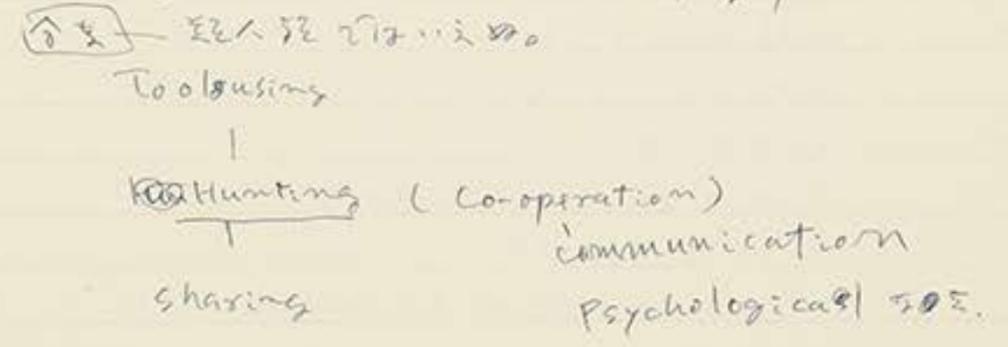
Ⅱ. 今世 2進歩 2進歩 2進歩 2進歩  
 河川沿林 → 4進歩  
 Gr.F. → O<sub>1</sub>



2本道 2進歩 2進歩 2進歩

Tool using 野生動物の食  
 Tool making 格闘の準備  
 進化 ——— 革命  
 生活環境の回復  
 防衛の準備のため  
 植物の採集、食料  
 有蹄動物の捕食 ——— 進化 omnivorous

Proto hominid 12.4 Group の進化



今日 — 標本台の元大  
生息の場所から出た  
ヒキアムエ

(open  
鳥)

Habitat segregation  
(適用 野鳥 2/3 c)

例 —

Suprafamily の Suborder 群,  
ニワケの標本  
元台の鳥の 2/3 c

今日 —

標本台の元大

進化の途上、鳥の元大  
2/3 c

ニワケの 7/8 c 2/3 c  
合算

ハチ — 元大 7/8 c 2/3 c

ホニ — 元大 7/8 c 2/3 c

ニワケの 2/3 c 2/3 c

例 —

Sociological 元大 7/8 c 2/3 c  
標本台の元大 7/8 c 2/3 c

ニワケの 2/3 c 2/3 c

今日 — ~~標本台の元大~~

(F — Nesting  
O — Mornad.  
Open land)

今日、鳥の 2/3 c 2/3 c Mornad 2/3 c

進化の途上;

元大 7/8 c 2/3 c 2/3 c

進化の条件

鳥の 2/3 c 2/3 c Open land 2/3 c  
進化の条件

2/3 c 2/3 c 2/3 c

Open Cage 2/3 c 2/3 c

2/3 c 2/3 c 2/3 c

胎児化

Figuralization — 2/3 c

鳥の 2/3 c 2/3 c 2/3 c

≡

適用 野鳥 (元大) 7/8 c 2/3 c  
2/3 c 2/3 c

(進化の 2/3 c 2/3 c 2/3 c  
人 1/3 c  
(元大  
胎)

= 2世号行

0 2世号行 → 2世号行

2世号行の進化 (1+2E) (進化)

Tool using の進化 (進化)

⇒ 4世号行 → 2世号行 → 2世号行

0 Sitting up (猿島猿)

manipulation

2世号行 → 2世号行 → 2世号行

Sitting up 進化

Sitting up → manipulation → Bipedal

進化

進化の過程

Hypermorphosis

Neotenic — 進化

進化

進化の過程

進化の過程

進化

進化

Neotenic

進化

Hominid

Australopithecus

Dryopithecus

Protoprimatae

進化

1) 猿島猿

2) 猿島猿の進化 → 人間に近くなる

進化

進化 Dryopithecus 進化 → 猿島猿



進化

進化の過程 A → B

Neotenic (進化)

進化

進化の過程

進化の過程

進化

進化

進化

進化

進化

進化

進化

進化

進化

Australopithecus 進化

進化の過程

今更.  $F \rightarrow 0$  である.

伊谷 Population Pressure によるものらしい

伊谷 ~~RF~~  $\rightarrow 0$  である. ~~RF~~

伊谷 動物の存在によるものらしい

Population によるものらしい

伊谷. 動物の存在によるものらしい

伊谷 Forest はある

Savanna はある

川谷はいる

伊谷.  $\rightarrow$  動物の存在によるものらしい

$F \rightarrow 0$

動物の存在

Savanna

Solitary - leader

動物の存在

Yd. Savanna のこと

動物の存在

Yd. Savanna のこと

動物の存在

動物の存在

伊谷.  $F$  と  $0$  の比例関係があるらしい

動物の存在によるものらしい

動物の存在によるものらしい

伊谷 胎生化 (neotenic)  $\rightarrow$  胎生化による

Neoteny

伊谷 Neoteny

動物の存在によるものらしい

Savanna の動物の存在によるものらしい

(	$F \rightarrow S$	- 動物の存在	Hunting -
	$S \rightarrow D$	- 動物の存在	Agri

伊谷. 胎生化の結果. 胎生化による

伊谷. 胎生化

Neoteny

伊谷 胎生化 - 胎生化による

胎生化の結果. 胎生化による

伊谷 胎生化の結果. 胎生化による

伊谷 Neoteny は胎生化の結果. 胎生化による

胎生化の結果. 胎生化による

胎生化の結果. 胎生化による

Open は胎生化の結果. 胎生化による

伊谷. 胎生化の結果. 胎生化による

Open は胎生化の結果. 胎生化による  $\rightarrow$  defense  $\rightarrow$  胎生化

伊谷 胎生化の結果. 胎生化による

伊谷  $F$  と  $0$  の関係

$F$  と  $0$  の関係.  $F$  と  $0$  の関係

$F$  と  $0$  の関係.  $F$  と  $0$  の関係

伊谷 - 胎生化 -  $F$  と  $0$  の Proportion がある

伊谷 - Terrestrial  $\rightarrow$  Savanna は胎生化の結果

伊谷.  $\rightarrow$

Large scale 変化.  $\rightarrow$

胎生化の結果. Hypermorphosis による

胎生化の結果

despecialization

伊谷 -	Neotenic type	} 胎生化
	Generalized type	





A. 高層分布の考察

1) 地理的考察

2) Ecological

i) 平地民 ——— 水牛・水田・入子田 (2x) 毛織物・土器

穀倉・稲田

ii) 山地民 ———

薪田

焼畑・干田

工業 (竹・木・紙) ——— 木織物

iii) 山民 ———

山田・水田 (山田)

干田 (山地民の稲田は山地民の)

1000m以上は山地民の稲田  
山地民の稲田

3) Cultural

平地民の稲田は山地民の稲田と異なる。

刈り	5~10%	稲田
干田	—	
11% ~ 6~8%		

山地民の文化的統一

平地民の稲田と山地民の稲田) 稲田

山田 (赤い山田・黒い山田)

平地民 ——— 山地民の稲田を稲田

稲田 (山田) ——— 稲田

山 (山田) ——— 稲田 ——— 稲田の文化的統一

山地民は平地民と稲田の何か異なる稲田を稲田

と

稲田の稲田に文字を稲田

稲田の稲田。稲田の稲田。生活規範。稲田の稲田

稲田の稲田

稲田の稲田

稲田の稲田 (上海民)

B. 山地民と平地民の内情

1) 稲田の稲田

1) 山地民の稲田は平地民と稲田

2) 相互依存

通婚 稲田の稲田。稲田の稲田

↑ 山地民 } 稲田の稲田

♀ 平地民

↑ 平地民 } 稲田の稲田

♀ 山地民

山地民の稲田

稲田の稲田

平地民の稲田

稲田の稲田

稲田の稲田

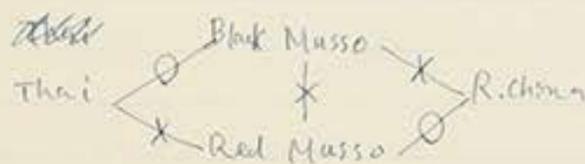
稲田の稲田

(稲田の稲田)

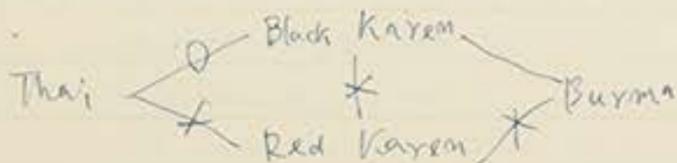
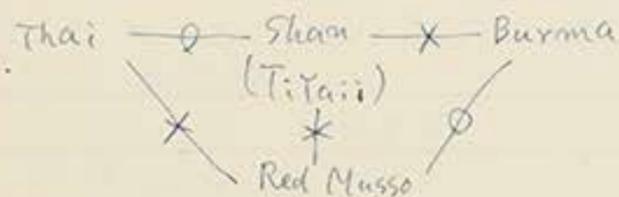
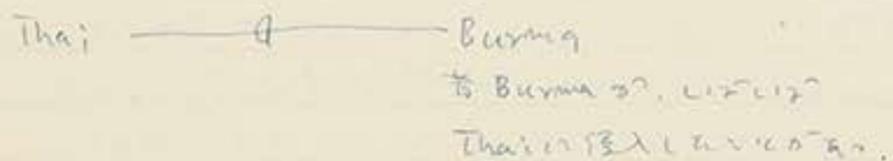
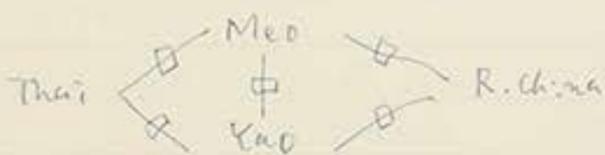




これは両方の国を結ぶ利用である。  
 一方、もう一方の国、前記の如く。



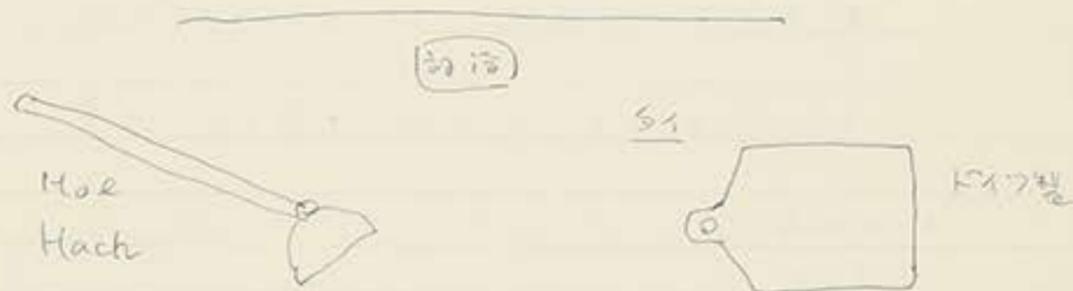
X 親交  
 □ 中立  
 O 友好



Thai — O — Liss — O — Burma

51

山地民は平地に於ては定着せざるが故に、  
 PAY, 等々、  
 此等は皆、



山地民 — 平地に於て

~~東洋の~~ ~~東洋の~~

( Kha Mu (カ) )  
 Wa ————— ) 才-2112707130E.  
 ( 才-5X-11 )  
 ↑  
 才-2112707130E.  
 ↑  
 才-5X-11

カ-は、

山地民は平地に於ては定着せざる。 — 不潔  
 文化の進歩に於ては、  
 此の如く、  
 合衆国の如く、  
 南米の如く、  
 南米の如く、



Kwan khaw — 輪重  
 Phi — 鬼の ghost  
 Taleo — 防壁



Phi 正 邪 正.

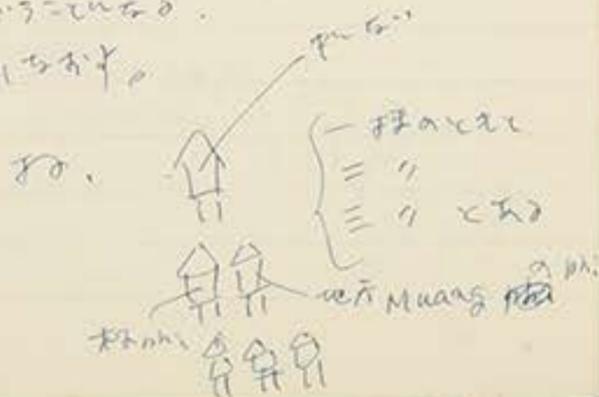
カワノオノ phi を 示す.



Ho phi  
 家  
 鬼  
 家

子にカワノオノ phi を 示す。カワノオノ phi を 示す。  
 phi を 示す。カワノオノ phi を 示す。  
 防壁、カワノオノ phi を 示す。カワノオノ phi を 示す。  
 防壁、カワノオノ phi を 示す。カワノオノ phi を 示す。  
 防壁、カワノオノ phi を 示す。カワノオノ phi を 示す。  
 phi を 示す。カワノオノ phi を 示す。  
 防壁、カワノオノ phi を 示す。カワノオノ phi を 示す。  
 防壁、カワノオノ phi を 示す。カワノオノ phi を 示す。

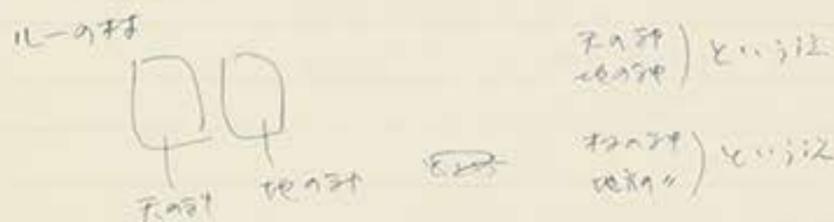
(村の phi  
 家の phi)



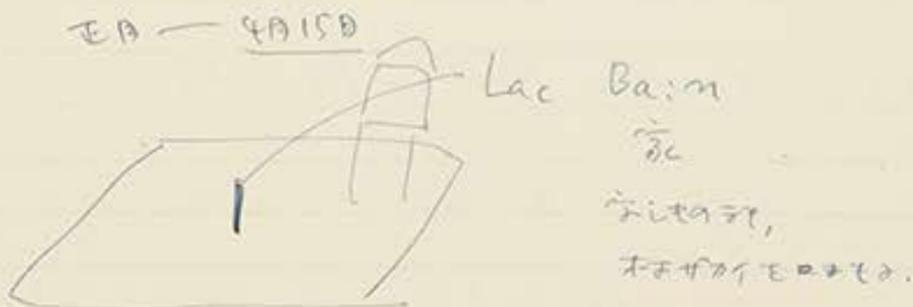
カワノオノ phi を 示す。  
 防壁、カワノオノ phi を 示す。カワノオノ phi を 示す。  
 防壁、カワノオノ phi を 示す。カワノオノ phi を 示す。



Chao thi — Ho phi  
 地



A, B, C. カワノオノ phi を 示す。カワノオノ phi を 示す。



Kyoto University



Ka Mu

カ-

銅器の  
銅器の



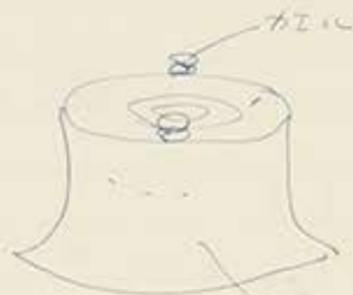
青銅器

銅器の Origin

新石器時代の

銅器の文化

銅器の文化



銅器の文化

銅器 — 石器 — 土器

銅器 — 小 — 大

1962. 7. 16.

研究会打合せ会

Coe M.D. 1961 Social typology and the tropical forest civilization  
Com. Studies in Society and History  
Vol. 14: 65-85

unilateral  
organic

urban, city

forest civilization is without city

unilateral

Social surplus

religious

分業

交換 — 商人

銅器の文化 — 銅器の文化

銅器

銅器 — 銅器

銅器 — 銅器

銅器の文化 — 銅器の文化

forest — 交通不便

銅器 — 銅器

銅器 — 銅器

銅器 — 銅器

多... 人民大家... 居住.

都市の中心 — 中心部.

都市

貴族の居住都市 — 貴族 管理 都市  
農民の都市 — ... 居住...

O地城は面積は広い。粗。  
F ————— 密

O地城の資源の豊富さ。管理の厳格さは不足

都市Fも Populationも...

Oは(都市)の発達は...  
Fは(都市)の発展...

都市

都市の発展 (発展都市)  
O地城 — 土地の豊かさの豊富さが...  
外部 — 人口の増加が... Situation  
... 人口の増加...  
Fは人口の増加 — 人口の増加...  
同じような。

都市

人口の増加の都市。環境の豊かさ。...  
都市。土地の豊かさ。 — ...  
都市の中心部 Leisure Class  
都市の中心部 Situation ...  
都市の中心部 ...

都市

Leisure Class の地城。労働者の内証。  
共同体的な地城の切り分けは... 生活者。  
共同体的な地城の切り分けは...

都市の中心部 — (温帯 Forest, 山列川列地城の分断 —  
↓ 交通不便。 — ...)

資本主義

中国 — 北方の江南... 地城の独立国地。

F — 共同体的な地城の切り分け...

O — 共同体的な地城の切り分け...

都市

Forest — 高。土地。人

O地城 — 高。金銀財宝... 都市の中心部...

都市

都市の中心部 — 金銀財宝... 都市の中心部...

都市の中心部 — O地城の切り分け... 都市の中心部...

小D地城は成り立ち...

FD地城は小D地城の発展... — ...

都市の中心部は... 都市の中心部...

都市の中心部は森林の切り分け... 都市の中心部...

都市

Temperate F. は Wood Kraft (燃料の都市)  
都市の中心部...

都市

Temperate F. の都市の中心部...

都市

都市の中心部 — ...  
都市の中心部 — ...

Kyoto University





伊合. 二つF — 40小 新の身.  
 〇 — 40大. 新の身. 外々.

外 — ヲ世 — 大月の本の多  
 〇 — センタシ.

位 — 尚書七の事地がさ.

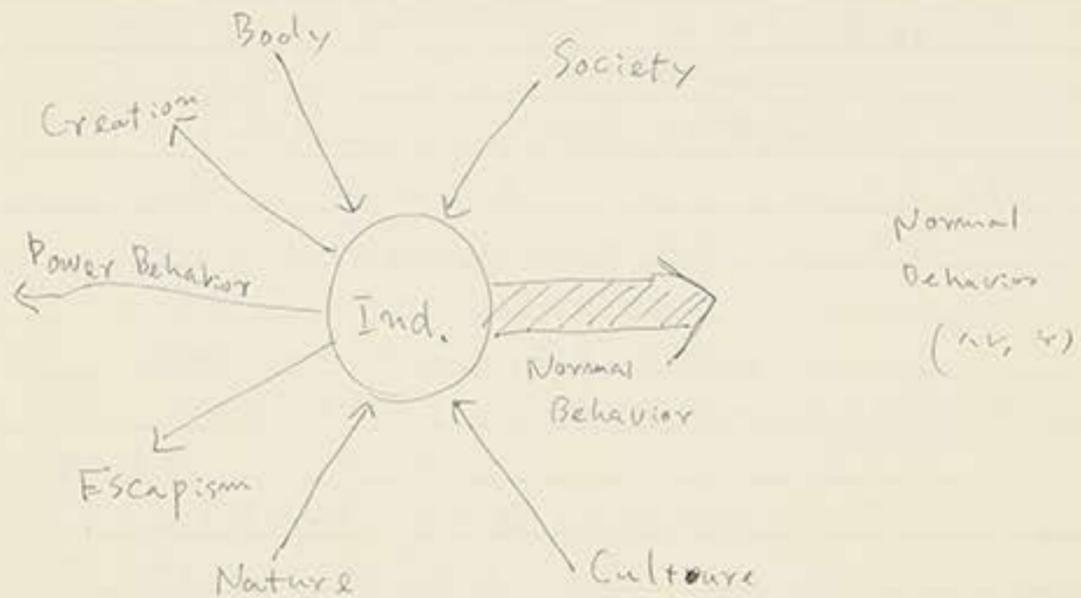
新	新内室	旧内室
	ratio universalism 道徳作用	irrati <sup>o</sup> particularism 道徳作用
	新学号	旧学号
	乾州	坤州
	十の二 → 比	十の二 → 比
	大スケール	小スケール
	Dry	Wet
	学号	学号
	原則	状況

今二. 大スケール  
 大スケール  
 小スケール

伊合  
 新分. 草原 40日 〇 severe  
 新分 " " センタシ

今二 新中 草原の  
 信路センタシ

Conformity



Marxton

Goal	Mean	
+	+	Conformity
+	-	Innovation
-	+	Retreatism
-	-	Revelion

伊合

信路

訂画的  
 目的的

十の二の  
 結果的

根底改革的  
 易姓革命の  
 目的的

日本-十の二の  
 体制改革的  
 受容的  
 (12, 4)



11. 和語.

文化 —  
 文化 —  
 文化: (D) 文化の進化論  
 文化: 個人や集団の Case Studies  
 文化: Variation

文化の進化論

→ Culture 文化 → 個人や集団.

~~文化~~ 文化

1962. 9. 20

打合せ



Human Character  
 racial "  
 national "  
 "

文化・社会

進化論

→ F の進化

東洋文化

文化の進化

北極地

文化

進化論

文化の進化

文化の進化論 → コト

文化 — セクター (進化)

進化

(進化論の進化)

文化の進化. Adaptation

Adaptive-radiation

文化の自覚

文化の自覚

population ① 文化の自覚を促すための自覚

今日. racial character を持つ race.

肉體に於いては種族の差が認められる。

植物. 「文化の自覚」を促す。

今日. 他種族の文化の自覚を促す。



各要素の分析を促す。

( 白 大の自覚 西地  
星 文化の自覚  
空 文化の自覚。等分。 )

文化の自覚

Education

今日. 文化の自覚を促す。

他種族

O.F. の文化の自覚を促す。

今日. O.F. 文化の自覚を促す。

植物. 文化の自覚を促す。

今日.

今日. 文化の自覚を促す。

文化の自覚を促す。

今日. Neothenic → 文化の自覚を促す。

植物. 文化の自覚を促す。

文化の自覚を促す。

今日. 文化の自覚を促す。

植物. Pietism → 文化の自覚

中心 — 0

周辺 — F

今日. 文化の自覚を促す。

文化の自覚を促す。

植物. 文化の自覚を促す。

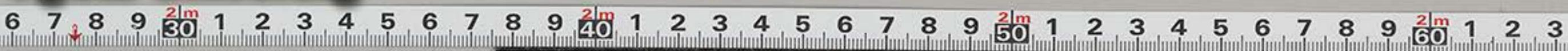
文化の自覚を促す。

文化の自覚を促す。

文化の自覚を促す。

文化の自覚を促す。

文化の自覚を促す。



DF 厚紙  
ID 字跡 研究  
字跡

近しい字跡は近しい字跡の研究に役立つ。

合計 320 — 14 冊分。  
+ 1157 冊分。

O — 14 冊分 —

F — 37 冊分 — 22 冊分

① Δ

1. Racial-character  
Human-character — 2 冊分

2. ~~①~~ 研究、~~②~~ 研究 — 2 冊分

Δ 字跡。

Neothernie

Sex — Race — Culture



佐々木  
1937.9.17.

日本<sup>文化</sup>起源論  
にかんする諸問題.

国正統化を以て中心。

- 1) 邦人種系
- 2) 言語
- 3) 国化

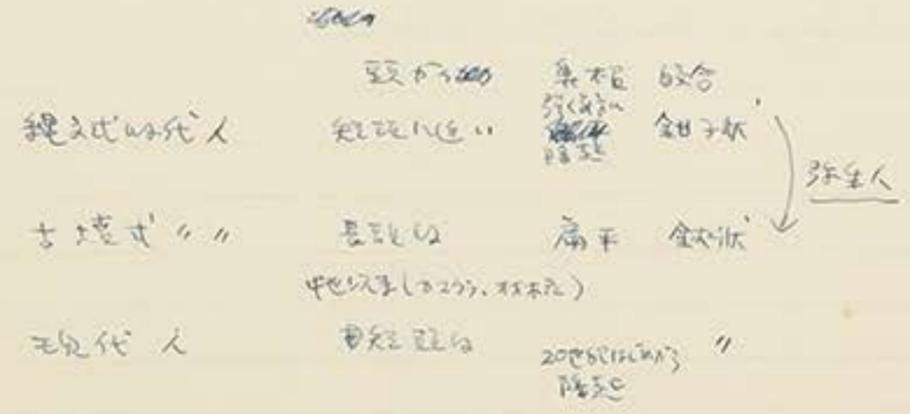
1) 邦人種系

日本の民族・文化 (岩波急編)

漢種也 —— 1. 直良 —— 唯石存人  
人骨 (ハセトキ)

2. 土著種  
ハセトキ ) 頭骨の分析は2種.

1946以前 異土著文化  
イワシユウ.



異土著文化の存在

金岡文夫; 西日本・弥生人骨

北九州から山陰にかけて  
男 (63歳(身長))

弥生文化とせよ、縄文人より身長が高くなる  
が入ったこと。

しかし、後についている。

身長は  
縄文の物種人、弥生人に近い。

- X 1930年代のころ、日本に縄文人説
- X 縄文の諸野の否定 —— 佐々木
- X 縄文の批判。(野原, 隆延...)

血液型 ) 北九州から漸進的変化を示す  
指紋

IV) 日本に縄文人の遺骨と文化は無い。  
(野原, 隆延)  
江上, 佐々木 —— 南九州に縄文人の文化は無い。

2) 言語学 日本語の起源(大野晋)

- 南支那の言語
- アムール川
- 朝鮮語

Kyoto University



○ 南支語

チリシ語

① 35

話尾の 0 化不規則。 Y. I の区別なし。

人語話の区別

エウキ-ル語 (チリシ語の方言)

② 45, 55, 65

エウキ語, チリシ語, 人語話の区別

○ 南支語の方言

1. 話尾の 0 化不規則。 話尾の 0 化不規則。 話尾の 0 化不規則。

2. 話尾の 0 化不規則。 話尾の 0 化不規則。 話尾の 0 化不規則。

3. 話尾の 0 化不規則。 話尾の 0 化不規則。 話尾の 0 化不規則。

話尾

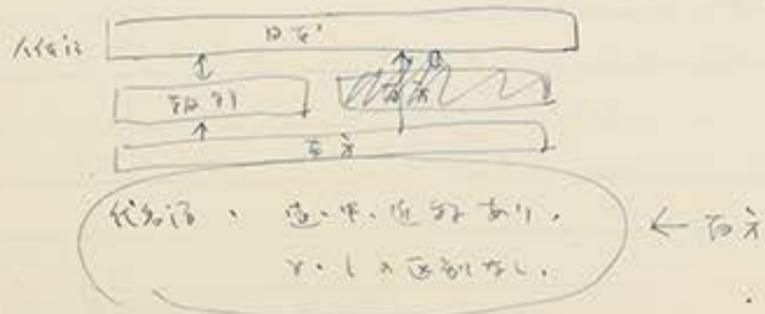
③ 145 - 145 以上

話尾の 0 化不規則。

○ 南支語

話尾の 0 化不規則。 話尾の 0 化不規則。

人語話の区別



チリシ語の方言

B.C. 300 ~ A.D. 300 ころ



チリシ

話尾の 0 化不規則。

人語話の区別

大野

話尾の 0 化不規則。

皇村

話尾の 0 化不規則。

話尾の 0 化不規則。

話尾

話尾の 0 化不規則。

話尾の 0 化不規則。

話尾の 0 化不規則。

3) 民族学

日本文化の起源

(同記)

同記 (1948) — 文化層の伝説

I. 母权的社会

和清共同体、母权的祭祀、母权的「和」血統母权的祭祀

II. 父权的社会

和清共同体、母权的祭祀、母权的「和」血統母权的祭祀

III. 父权的社会

和清共同体、母权的祭祀、母权的「和」血統母权的祭祀

10. 父权的社会 父权的氏族社会  
 父权的氏族社会，北方智人种的氏族，五地种

文化层序说

(1958)

文化层序说

I. 母系的秘密语种的(羊)栽培=狩猎文化 ← 狩猎文化  
 母系的，母婚，母方婚，「个」母系氏族集团

南 (縄文中期に由来)  
 日本列島の母系氏族の起る ← 縄文文化の母系

II. 母系的稻作=狩猎文化 ← 南支  
 稻作(稻作, 稻作文化(大母) 有稻作 日食野の稲作  
 中居: millet

南 (縄文末期に由来)  
 Austroasia ← PASADAPLE

III. 父系的北方民族的(稻作)狩猎文化  
 北支, 北方民族的稻作, (南支, 西日本) 稻作  
 をとり入れた

北 (縄文式や新石器時代)  
 縄文式や新石器時代の文化

IV. 男性的半农半猎的(稻作)狩猎文化  
 倭人

南 (オーストロネシア)  
 Austronesia → 南支文化

V. 父系氏族の中心民族的(稻作)文化  
 天竺文化(狩猟文化)

北 (天竺文化) → 古来の天竺文化  
 天竺文化の起る ← 天竺文化

狩猟文化  
 稲作文化  
 天竺文化  
 南支文化  
 北支文化  
 天竺文化

以上、P.L.の文化層序説は、  
 狩猟文化の起る Base として、

南支文化の起る I (南)  
 北支文化の起る IV, V (北)

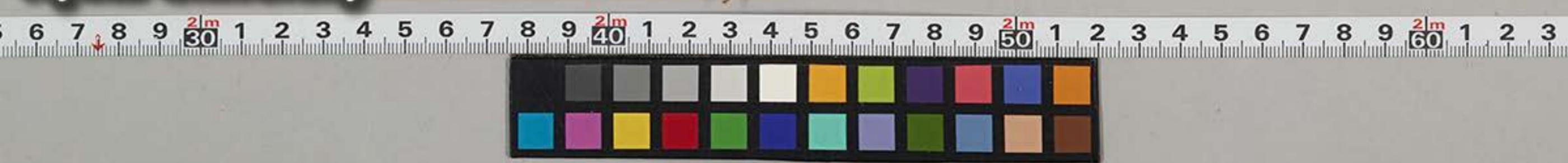
縄文文化は、稲作文化の起る ← 北

天竺文化の起る ← 天竺文化の起る  
 天竺文化の起る ← 天竺文化の起る  
 天竺文化の起る ← 天竺文化の起る

天竺文化の起る ← 天竺文化の起る  
 天竺文化の起る ← 天竺文化の起る  
 天竺文化の起る ← 天竺文化の起る

天竺文化の起る ← 天竺文化の起る  
 天竺文化の起る ← 天竺文化の起る

天竺文化の起る ← 天竺文化の起る  
 天竺文化の起る ← 天竺文化の起る



菅沢夏介 : 石巻の文化 (築地書館)

中世, I と II の 12世紀後半  
Millet 稲 3000年頃  
稲 3000年頃 2100年頃

梅枝 2100年頃 稲 3000年頃 2100年頃  
白米 700年頃 ← X 3000年頃 (1000年頃)  
2100年頃

文化 1948 国史 稲 3000年頃  
1959 大野記  
1988 国史

梅枝 II と III, 日本 稲 3000年頃  
II は Austroriparian

言語学的要素の leading factor 2000年頃

文化, I と IV の 2000年頃  
II, III, IV は 2000年頃 (10世紀後半 稲 3000年頃 2100年頃)

今更 稲 3000年頃の文化は 2000年頃

梅枝 IV は 水稲作りの文化 2000年頃  
2100年頃の文化は 2000年頃

文化 稲 3000年頃  
稲 3000年頃 Tragedy 700年頃  
稲 3000年頃  
稲 3000年頃 文化  
稲 3000年頃 文化 稲 3000年頃  
稲 3000年頃 文化 稲 3000年頃  
稲 3000年頃 文化 稲 3000年頃



稲 文化 — 稲 3000年頃, 稲 3000年頃, 稲 3000年頃  
稲 3000年頃, 4000年頃  
稲 3000年頃 — 稲 3000年頃  
稲 3000年頃 — 稲 3000年頃, 稲 3000年頃

稲 3000年頃, 4000年頃 ~ 5000年頃  
稲 3000年頃 稲 3000年頃 5000年頃  
稲 3000年頃 稲 3000年頃  
稲 3000年頃, 4000年頃

稲 3000年頃 稲 3000年頃 稲 3000年頃  
稲 3000年頃 稲 3000年頃 — 稲 3000年頃  
稲 3000年頃, 稲 3000年頃  
稲 3000年頃 稲 3000年頃

稲 3000年頃 稲 3000年頃 稲 3000年頃  
稲 3000年頃 稲 3000年頃 稲 3000年頃  
稲 3000年頃 稲 3000年頃 稲 3000年頃

稲 3000年頃 稲 3000年頃 稲 3000年頃  
稲 3000年頃 稲 3000年頃 稲 3000年頃

Kyoto University



念語 信塚の成り立ちには多少の誤りがある。

中尾、自今よりくわんてんまでつた。

- I. 籾
- II. millet (四国七工) ← 江戸
- III. ~~W型大粒~~ millet ← ~~江戸~~ 江戸・和歌山
- IV. 籾 ← 江戸

日本々至至毛月也即此命ハツテ。

南・北。

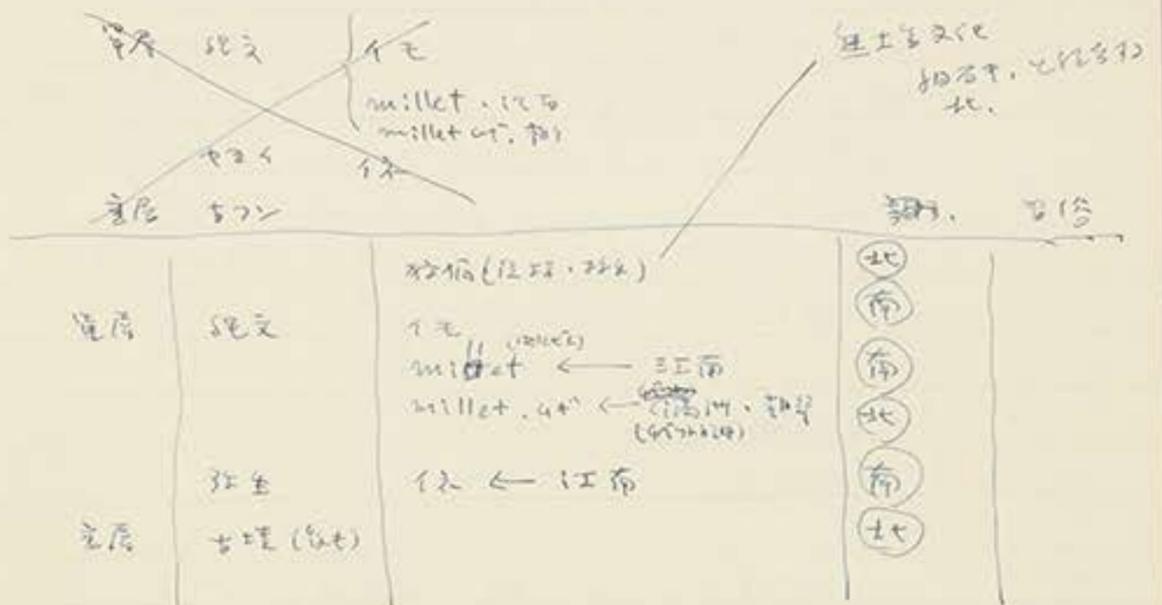
(クイモン) 江戸  
(クイモン)

中尾 ミノは江戸から来たものと云ふ。

カクコクヤ  
カクコクヤ 江戸から来たものと云ふ。

millet のイヌは七ヶ所が定かたつた。

中尾 文化層の古さが民衆の信託と云ふことが、



北  
南

今尾、百箇年の前に移り、ヤイニ一尾... 北言の在りも... かつた。

中尾 進上文化、

中尾 同く... 2P16 は... 信塚... 江戸... 信塚... 信塚...

南支... 信塚... 信塚...





①

1) 縄文時代の ( B.P. 10000 )

北平 - 320 x 910 尺

2) 縄文時代の ( B.P. 12000 - P.A. 1700 B.C. 700 )

植

植

( 44.22 . . . . . 135 130尺 )  
( 10.11.00 )  
( 14.9.11.05 )

②

3) 縄文時代の ( B.P. 10200 - P.A. 1700 B.C. 700 )

植

植

42350

4) 縄文時代の ( 421 )

4200

5) 縄文時代の ( 4225 )

4210

4210

植

植

植

植

植

植

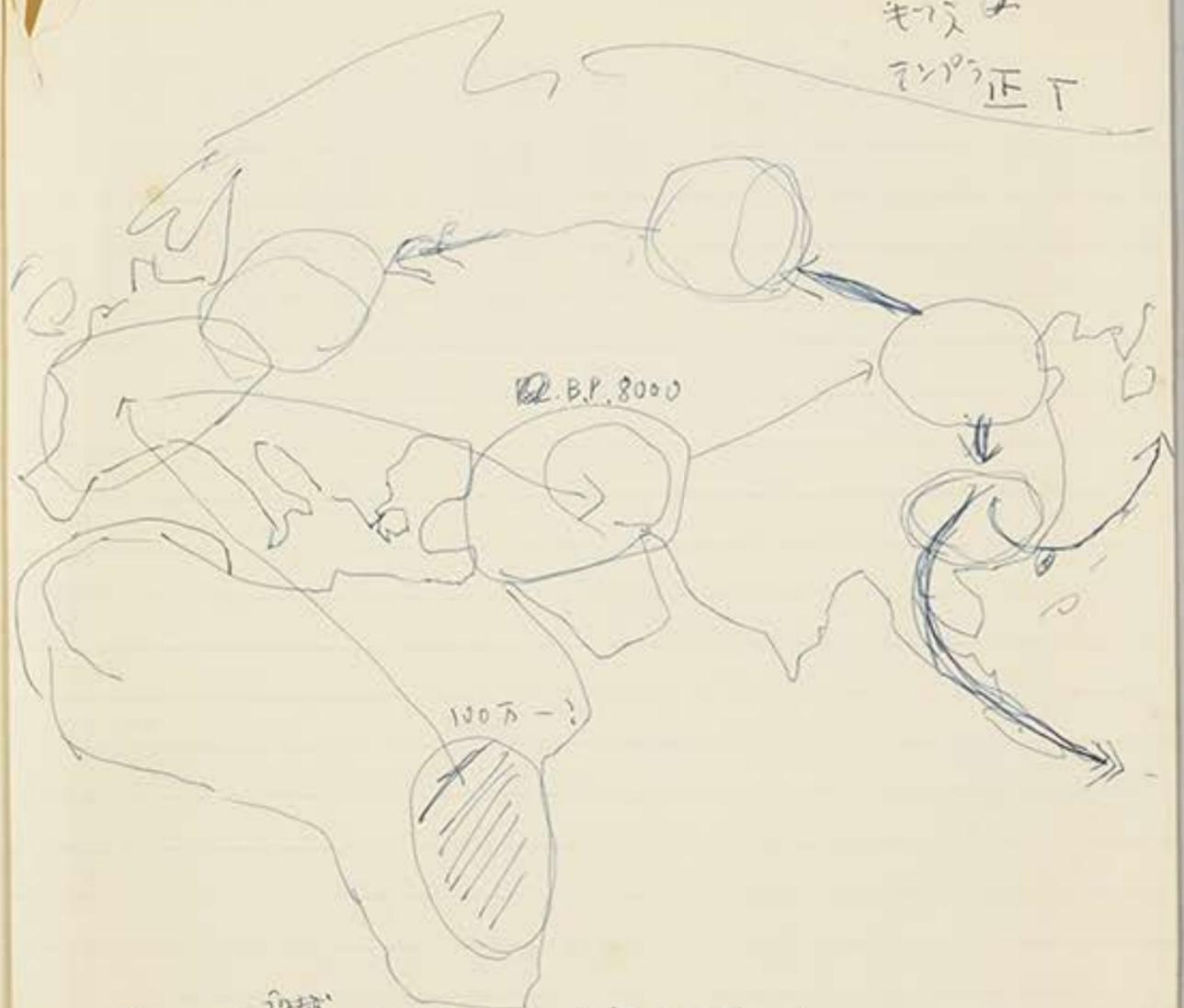
植

③

6) 縄文時代の

4210

縄文  
時代の



① 縄文時代の ( 縄文時代の )  
B.C. 9000

B.C. 300 尺  
( 44.22 . . . . . 135 130尺 )  
( 10.11.00 )  
( 14.9.11.05 )

② 北平 - 320 x 910 尺 ( 縄文時代の )  
B.C. 10000

Kyoto University





Kyoto University



岩波

✓

① 結核伝染

序文

第1分冊 (吉原) 11月末  
 第2分冊 (伊豆) 1月  
 第3分冊 (山形) 3月

2721  
 P.300  
 P.350

② 結核伝染

① 序文 ② 結核伝染  
 ③ 結核伝染 (結核)

③ 序文・各巻

④ 別刷: 又入り、序物 (両版 36冊)  
 横書 (AS) 結核伝染

⑤ 横書

第1巻 100冊  
 第2巻 100冊  
 第3巻 100冊  
 横書 100冊  
 比加元分

1212-?

Kyoto University



Kyoto University

十條製紙小倉工場特別抄紙



ゲッセイ

